

全日本官公序剣道連盟

第57回剣道大会

日 時 令和7年10月25日(土)
会 場 東京武道館



(第50回剣道大会を記念し製作した優勝旗)

主催 全日本官公序剣道連盟／後援 公益財団法人 全日本剣道連盟

後援 一般財団法人 東京都剣道連盟



「天鑑無私」の書について

「天に鑑み、私無し」と読みます。

「天道に照らし合わせ、決して私心を以って事にあたらない」という、公僕の心構えを表しています。

官公庁剣道は、そのような公務員としての心構えを映した剣道であるべきであるとの考え方から、官公庁剣道連盟として象徴的な言葉として大切にしています。

この言葉は、会計検査院長を務められた、第二代会長山崎高先生がよくお話になった言葉で、今日までも連盟旗や記念の手拭を作成しており、おなじみの格調のある、勢いのある見事な書となっています。

(集合・入館・審判会議他)

競技役員 午前8時前南口に集合し東口から8時入館

選手入館 午前8時10分南口から（男子観覧席・女子更衣室他）

選手受付 午前8時30分（第一武道場）

審判会議 午前8時50分から（2階大研修室）

御来賓 午前9時00分から（大武道場控室待機）

○午前10時以降、第二武道場での稽古はできます。

○選手のウォーミングアップは、係員の合図で大道場にて行なう。

ご挨拶

(略歴)



昭和23年6月1日（北九州市小倉）生
防衛大学校（土木工学）15期（昭和46年卒）
平成14年 3月 第3師団長
平成15年 7月 陸上幕僚副長
平成16年 8月 西部方面総監
平成31年 2月 全国自衛隊剣道連盟会長退任
令和元年 5月 全日本公序剣道連盟会長就任
令和7年 5月(全日本公序剣道連盟会長(4期目)

会長 林 直人

第57回全日本公序剣道大会を開催するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。剣道界が2027年5月に東京で開催される、「第20回世界剣道選手権大会」に向けて、コロナから回復し諸準備に向け始動しつつある中にあって、本日、ここに多くの参加者を得て、今大会が開催できますことに厚く感謝申し上げます。今年は、戦後80年の節目を迎えた年であります。近年、長く続いた日本の平和が脅かされそうな世界の情勢下にあり、更に本年1月に誕生した米国のトランプ政権は全世界をより混迷な状況にさせております。この現状は、わが国にとってもこの数十年で最も厳しい国内外情勢の渦中にあるとみられております。この世界の混乱の中にあって、我が国の政界は、一時期の安定長期政権から大きく変わり、昨年の衆議院総選挙、今年の参議院選挙と政権与党が惨敗を重ね、政局は不安定となりました。また、主食である米（コメ）問題にみる物価高騰などを生じ、国民生活も安寧とは言えない状況にあります。政治が、その適切な対応を国民に見える形で示し得ない中にあって、国家国民を直接支える公僕としての官公序職員の毅然とした日々の行動こそが、わが国に対する世界の信頼そのものであることに誇りと自信を持っていただきたいと思います。また、それこそが国民の多くが期待しているものと信じております。反面、そのような国民の目に晒された職場環境下において厳しい任務を遂行される、我が官公序剣道連盟の皆様にあっては、日々の稽古の機会の捻出にも苦労の絶えないところであると思います。しかしながら、公僕としての矜持を保持するために、是非この機会に、心身ともに充実された「天鑑無私」（天にかんがみなし）の剣道の体現を国民の前に披露して頂くことが、国民の期待に応え、その信頼を維持できることに繋がるものと確信しております。各選手の皆様が、それぞれの組織を代表し、正々堂々たる見事な試合をされることを期待しております。皆様の御健闘をお祈りします。最後にご臨席賜りました御来賓、本大会開催にご尽力頂きました多くの関係者の方々に御礼申し上げますとともに、本日の大会運営に携わられます、審判の先生方、各試合場の運営に係る諸勤務の方々等、本大会を支えておられます皆様に重ねて感謝申し上げ、ご挨拶といたします。

令和7年10月25日
全日本公序剣道連盟会長 林 直人

試合実施要項

1. 試合は、全日本剣道連盟試合・審判規則、同細則及び剣道試合・審判・運営要領の手引き(令和6年9月1日付改訂版)に準拠して行なう。

2. 個人戦の試合

個人戦の試合は、3分間3本勝負とする。時間内に勝敗が決しない場合は、2分間の延長戦を行う。延長でも勝敗が決しない場合は、判定により勝敗を決する。「判定」による勝敗は、技能の優劣を優先し、次いで試合態度の良否より判定する。

但し、決勝戦は、3分間3本勝負とし時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行なう。延長戦は、2分ごとに時間を区切り勝敗の決するまで行なう。延長を2回行なっても勝敗が決しない場合、主審は試合者の状態を確認して、休息を入れる等の対策を取り、次の延長戦に入る。以降同様に行なう。

3. 団体戦の試合

団体戦の試合は、3分間3本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。団体戦の勝敗は、勝者の数によって勝敗を決する。勝者が同数の場合は、総本数の多い方を勝ちとする。総本数が同数の場合は、代表者戦によって勝敗を決する。代表者戦は、3分間1本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を2分間ずつ区切り勝敗の決するまで行なう。延長を2回行なっても勝敗が決しない場合、主審は試合者の状態を確認して休息を入れる等の対策を取り、次の延長戦に入る。以降同様に行なう。

4. 試合順序

個人戦男子の部、続いて女子の部を決勝まで行なう。(3位決定戦は行なわない。)

個人戦が終了した会場は、団体戦に入る。

但し、進行担当が調整し試合会場の変更を行なう場合はその調整に従うこと。

5. 試合時間により、昼食時間は設けないので各自調整してとること。

6. 個人戦の表彰は、14時頃を予定とする。(試合は、継続する。)

【注意】

○事故防止のため、竹刀の点検を行なってください。

竹刀は、剣道試合、審判規則第3条・細則第2条による。剣道具は、剣道試合、審判規則第4条・細則第3条による。中結いは、剣先から全長の約1／4の箇所にしっかりと固定させる。また、竹刀は、先端部が極端に細いものは使用しない。

○剣道の実施にあたって ① 面をつけて剣道を行う際には、飛沫の飛散防止等のため、口の部分を覆うシールドもしくは、面マスクを着用する。② 大会の審判員のマスクやシールドの着用は不要とする。但し、控え席でのマスク着用は個人の判断とする。

(参考)

新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法の取り扱い及び「剣道試合・審判・運営要領の手引き」の改訂について

全日本剣道連盟は、今後の「暫定的試合審判法」による試合運営の恒久化を図るため「剣道試合・審判・運営要領の手引き」を改訂し2024年9月1日から実施しています。

一規則 全日本剣道連盟『剣道試合・審判規則』第1条（本規則の目的）には、「剣の理法を全うしつつ、公明正大に試合をし、適正公平に審判する」とある。

「剣道試合・審判・運営要領の手引き」

○新たに加筆された事項（抜粋掲載）参照

◇つば（鍔）競り合い（以下「鍔競り合い」とする）は、鍔と鍔とが競り合って互いが最も接近して緊迫した状態である。鍔競り合いは攻防や打突行動の中から発生した相対関係である。鍔競り合いになった場合は、試合者は積極的に技を出すか、積極的に解消するように努めなければならないのである。しかし、鍔競り合いが長く（一呼吸：3秒程度以上）続くようであれば、基本的には次の観点から総合的に是非を判断する。

- ①正しい鍔競り合いをしているか。②打突の意思が有るか。③分かれる意志が有るか。以上の判断・処置は概ね次のように集約される。
 - ・一般的に見て異常な行為という判断は、第1条の目的に帰結する。加えて時間的な経過、状勢なども踏まえて総合的にかつ客観的に考察しさらに合議により判断・処置する。

◇二刀、隻腕、片手上段において、大刀の鍔元（近く）を握ることで小手部を隠すことは反則となるか。

- ①柄の握り位置は柄頭を原則とするが、柄の握り位置だけをもって判断することは難しいため、防御一辺倒など著しく見苦しい場合は、合議のうえ規則第1条に照らして反則とする。
- ②鍔競り合い等の接近した場面で鍔元を握ることは、刀法や間合を考慮し、特に問題としない。

◇打って直ぐに受けに入る動作について、どう対処すればよいか。

- ①有効打突の条件（残心あるもの）に欠けるので一本としない。

◇鍔競り合いの解消途上の見極めにおける留意点は、

- ①正しい鍔競り合いから鍔と鍔で競り合う力をを利用して積極的（一気）に解消しているか
年齢や鍛錬度を考慮し審判員は総合的に判断する。
- ②解消途上に不当な行為がないか。
 - ・下がると見せかけて打突する行為。・竹刀を意識的に肩に掛ける行為。・竹刀を払う、巻く、抑え込む、ひっかける行為。・竹刀を開く、下げる行為。・故意に体を反らしたり曲げたりする行為。
 - ・その他、不当と思われる行為。明らかに解消途上に不当な行為がある場合は、合議の上「反則」を摘要する。微妙な場合は2回、3回と統ければ合議の上、判断する。

※鍔競り合い時の発声に関しては、今後「指導」と「反則」とはしないが、鍔競り合いは互いが最も接近して緊迫した状態であることから、極力発声しないよう日頃の稽古や試合において指導願います。

※審判員の移動・交替要領、団体試合の整列方法に関しては、「暫定的試合審判法」実施以前に戻します（運営要領 p14-15 図の通りとし、審判員間の距離を狭める）。

<その他> ※「暫定的試合審判法」以外の事項として「手引き」へ「二刀等」に関わる加筆をしています。

以 上

大会プログラム

1 開會式 (9:20~)

- (1) 開会の辞 (大会委員長)
(2) 国歌斉唱
(3) 優勝旗・優勝杯の返還 (福岡刑務所)
(4) 会長挨拶 (大会々長)
(5) 御来賓挨拶 (元内閣危機管理監、東京都剣道連盟会長)
(6) 審判長説示 (西川審判長)

2 特別演武 (9:40~) P9を参照

直心影流法定の型（刃引）（打）加藤達人（仕）糸山旭太

3 試合 (10:00~) P10試合進行表を参照

- (1) 個人試合 ①男子の部 ②女子の部
(2) 団体試合 (11:40~) 個人戦終了の試合場から随時行なう。

4 閉會式

- (1) 成績発表・表彰式
 - (2) 謝 辞
 - (3) 閉会の辞

*（ ）内の時間は、目安です。試合進行により前後しますのでご注意ください。

*個人戦の表彰式は、14:00頃を予定しています。入賞者は、アナウンスがあつたら参考してください。

御來賓

元内閣危機管理監 伊藤哲朗 東京都剣道連盟会長 千葉胤道
元警視総監

大会役員

大 会 委 员

大会審判員

審判長 西川清紀

*○印は、主任

【第一試合場】

○ 石武島東新吉宇
井藤村嶋村田野
猛宏史久志誠祥
一剛忠浩文

○ 原田鍋山村岡尾
川坂高森辻西松
力郎進信二仁子
敏正憲純

○ 口野瓶宮島里崎
坂淺権雨飯大浜
末治泰一己織浩
竹信功尚利史昌

【第四試合場】

○ 五杏矢永江村吉
十掛吹松崎上田
嵐孝司裕博秀健
則朗二志徳透児

○ 村地下口上藤野千
中寺山田村伊紺
人幸亮宏彦路子
明四昌和雄恵

○ 西岡松大佐浅菊
村本脇保見池
美明介一彰学信
和和伸嘉勇喜

【第七試合場】

○ 横岩別後大中安
内佐木門野達
道範良英つ浩一
成樹功悦

○ 教竜知博高昌康
松原美方名田良川
永東貞新山相安
孝司雄之志孝雄

○ 【進行担当】
澤草宮島
雄新征士
一英尚

【第八試合場】

○ 進野行上
澤草宮島
雄新征士
一英尚

進行担当は、各会場の進行状況を管理し本部会場総務と連携を図り、試合進行に応じ試合場の変更の調整を行う。
変更が生じた場合、審判主任との調整も行なう。
また、会場記録等の指導を行う。

競 技 役 員

大会統括 谷口茂樹 (理事長・東京都庁)
大会総務担当 池之野 真 (副理事長兼事務局長・農林水産省)
大会管理担当 (兼務)

*○印は、主任

* 第一次(大会前)

【審判会議総務】

- 谷口茂樹 (理事長)
司会澤野一雄 (東京自衛隊)
会計小高麻利子 (葛飾区役所)
会計鍋山夏子 (東京自衛隊)

【役員・審判受付係】

- 村上和彦 (東京自衛隊)
貞方美知雄 (同上)
松尾純子 (同上)

【国旗・連盟旗・ひな壇】

- 池之野真他
草野新 (東京自衛隊)
宮上英征 (同上)
島尚士 (農林水産省)
(総務・進行担当)

【試合場係員受付】

- 池之野真 (農林水産省)

【選手受付・変更係】

- 川上義幸 (葛飾区役所)
鈴木茂晴 (同上)
木村敬利 (同上)
宮野恭行 (東京自衛隊)

(選手入場・駐車券担当)

- 齊藤章弘 (葛飾区役所)
坂田宗昭 (東京自衛隊)
(選手誘導)

(案内等掲示・靴袋)

- 紺野哲夫 (東京税関)
成嶋伸治 (厚生労働省)
高橋聰 (文部科学省)
菅野徹 (東京自衛隊)
(消毒液・ゴミ袋設置含む)

○観覧席等のゴミ収集・廃棄は、今回委託します。第一武道場の
畳部は、ブルーシート設置の後使用する。今回委託します。

* 第二次(大会時)

【総務係】

- 池之野 真 (農林水産省)
会計小高麻利子 (葛飾区役所)
会計鍋山夏子 (東京自衛隊)
広報齊藤章弘 (葛飾区役所)

(進行担当)

- 本部澤野一雄 (東京自衛隊)
会場草野新 (同上)
会場宮上英征 (同上)
会場島尚士 (農林水産省)

【会場管理係】

- 紺野哲夫 (東京税関)
成嶋伸治 (厚生労働省)
高橋聰 (文部科学省)
菅野徹 (東京自衛隊)
坂田宗昭 (東京自衛隊)

【記録係】

- 川上義幸 (葛飾区役所)
鈴木茂晴 (葛飾区役所)
木村敬利 (同上)
宮野恭行 (東京自衛隊)

【接待係】

- 谷口由美子 (事務局)
高橋まどか (東京自衛隊)
高久絢名 (同上)

- 【救護係】 (救命士)
田波純子 (東京消防庁)
大里文夫 (同上)

【筆耕係】

- 市川了一 (東京自衛隊)
木村敬利 (葛飾区役所)
(記録兼務連絡)

【試合場係】

- 第一試合場 (東京拘置所)
○ 柏崎悠介 小林侑一郎
岡田守礼 櫻井智仁
菅大二朗 小泉雄大

- 第二試合場 (東京消防庁)
○ 小室正司 倉持みつる
竹中憲司 松元信英
淺谷勇介 佐藤雄一

第三試合場 (東京自衛隊)

- 松永秀嗣 蘭田康孝
江口正由樹 緒方辰徳
喜地雅人 梅澤宗弘

- 第四試合場 (東京都庁)
○ 中島空太 今野晶仁
榎本賢介 大澤夕真
白井玲 加藤元輝

第五試合場 (東京特別区)

- 松田和晃 大地貴之
青木康和 湯木実結
三上健助 渡辺匠

第六試合場 (東京市町村)

- 中田祥平 女屋仁美
下地恒土郎 天野昂
早坂優一 中西徹人

- 第七試合場 (都交通局)
○ 近藤喜隆 神原一郎
浅見拓也 泉川裕彦
上原征二 湯原充

- 第八試合場 特別機動警備隊
○ 池田好晃 鳥越隆志
浅尾泰介 今井田恵里
安心院実 (東京国税局)
居倉弘騎 (同上)

【競技役員の担当内容】

1. 大会統括	来賓・招待者のおもてなし。式典全体をつかさどり会場総務係を掌握する。
2. 大会総務担当	大会全体の進行を担当する。受付部門、選手変更、記録係を掌握する。
3. 大会管理担当	大会開催中の場内管理、救護・救急等安全面を担当（救急車は、武道館から要請）し、大会完了を東京武道館に報告する等、連絡調整に当たる。
(1) 総務係	各試合場の試合の進行を管理し、大会総務担当と連携する。 国旗、連盟旗、横断幕の設置及び大会役員、審判長、来賓の席を設置する。 開会式、表彰式の優勝旗、カップ、メタル、賞状等の受け渡しを担当する。 各試合場係のプログラム等、掲示用トーナメント紙、備品等を配布する。 全体の試合進行状況を総務係と共に各会場進行担当と連携し調整を図る。また、トーナメント表、団体試合掲示等を指導する。 選手の点呼・確認、目印（タスキ）の着脱、計時等試合の円滑な運営に努め、試合結果等を速やかに記録係に報告する。 今回、試合場コート設営は、委託会社が事前に設営するものとする。
(2) 進行担当	
(3) 試合場係	
(4) 記録係	各試合の記録を総括、整理保存する。各種別ごとの表彰者を筆耕担当に速やかに提出する。
(5) 会場管理係	大道場、第一、第二武道場への看板の張り紙を入場後速やかに行う。 大道場への選手以外の入場を規制する。定期的に巡視し、会場内の安全チェック、盗難防止、ゴミの処理状況等を管理を行なう。 ゴミ処理は、今回、委託会社が収集・廃棄を行なうものとする。
(6) 救護係	けが人等の発生時に速やかに応急措置を行い、大会管理担当と連携し救急対応する。救急要請が生じた場合、武道館事務所に報告し救急車等要請する。また、大会時の傷害で医療にかかる場合、診察後に診断結果を元に保険申請有の連絡を連盟に報告し手続きを行なうように伝える。 審判会議の湯茶の提供、昼食時に弁当の配布及び湯茶の提供を行う他、隨時、役員控室で接待を担当する。
(7) 接待係	
(8) 筆耕担当	賞状は、団体戦、個人戦男子の部、女子の部の各3位までの4枚及び敢闘賞の各4枚）計24枚と予備の枚数を確認する。 また、最優秀賞1名及び東京都剣道連盟杯賞状を確認する。 個人戦の入賞者の表彰式は、14時頃を予定するので筆耕の対応をする。 団体戦の表彰式は、決勝戦終了後に行なうので速やかに対応する。 優勝、準優勝、最優秀選手賞、東京都剣道連盟杯、3位（2団体） 敢闘賞（4団体）が決定し次第順次筆耕を行う。 連絡担当は、筆耕担当を補佐し入賞者を速やかに知らせ、筆耕完了後速やかに総務係に届ける。また、東京武道館からの電話の応対を行う。
○（大会前の役割）	
(1) 審判会議総務	審判員受付係と連携し、審判員の点呼及び審判会議の進行に当たる。
(2) 役員・審判受付係	正面入口から、審判会議資料の運搬及びプログラム等の配布を行う。
(3) 試合場係の受付	試合場担当の受付を行い、備消耗品を大道場に運搬、担当試合場毎の備品、プログラム、掲示用トーナメント紙等を配布する。
(4) 選手受付・変更係	各団体の受付、プログラム、領収書等の配布及び大会総務係に参加、欠席状況を報告する。また、変更申込書の内容を確認し、各試合場に連絡するとともに、記録係と連携する。 本大会の受付は、第一武道場とする。
(5) 選手入場・駐車券担当	入場担当は、靴袋、武道館駐車券の配布を担当し入館時に誘導する。 本大会は、選手入場を8時10分に予定する。

【流派説明】直心影流「法定之型」

(由来)直心影流第15代道統、山田次朗吉先生と開拓の父と言われ、日本国民高等学校（現日本農業実践学園）の創立（1927年）に関わり初代校長となった加藤完治先生とは深い親交があり、大正から昭和の初期にかけて山田先生がたびたび当校を訪れ職員、学生が法定之型のご指導を受けました。その後当時の職員酒井章平先生、範士九段小川忠太郎先生を通して日本農業実践学園に伝わっているものです。

- (1) 法定の意味 法定の法は、天地自然の法とされる。よって天地自然が定めた型ということになる。人間が作ったものではないとされている。
- (2) 成り立ち 法定之型は天地自然の運行に合わせて、春、夏、秋、冬の4本の型からなっている。それぞれに修行の目的として下記のごとく名前が付けられている。

1本目 春 機先を制する	2本目 夏 一刀両断
3本目 秋 臨機応変	4本目 冬 長短一味

(3) 特徴 法定之型は、呼吸（努力呼吸と呼ぶ）をはっきりとする事、一般の剣道と違い、二足一刀を基本とするなどいくつかの特徴がありますが特に大切と思われる特徴として「相討ち」がある。「4本の型のどの刹那も相討ちの連続である。」かつて300以上の流派があり、良い流派の根本は皆「相討ち」を元にしているといわれる。勝ち負けのない「相討ち」により相手の方と一緒にとなり、人間性の根幹を養うことができる。そしてこの型の真剣な修練は天地自然の運行のごとく人間生活で行き詰まる事はないといわれている。

なお、通常法定の型は木剣での修練ですが、山田次朗吉先生、加藤完治先生の真剣での演武が記録に残されており、今回は剣をもって演武させていただきます。

【演武者】 日本農業実践学園（日本武道修練会）

かとう たつと
打太刀 加藤 達人（日本武道修練会会长）
もみやま あきた
仕太刀 紺山 旭太（日本農業実践学園長）



○昭和9年4月 日本高等国民学校内に直心影流法定の型の研究会が設立される。

会長加藤完治（初代校長）

○昭和40年7月日本武道修練会発足。会長加藤弥進彦（元学園長）、講師小川忠太郎範士

(注意)① 時間は、目安です。会場によって進行が異なります。

呼びだし時にいない場合は棄権とみなしますので、ご注意下さい。

② 試合の進行により、会場の変更がある場合があります。

③ 昼食時間は設けておりません。各自調整し食事してください。

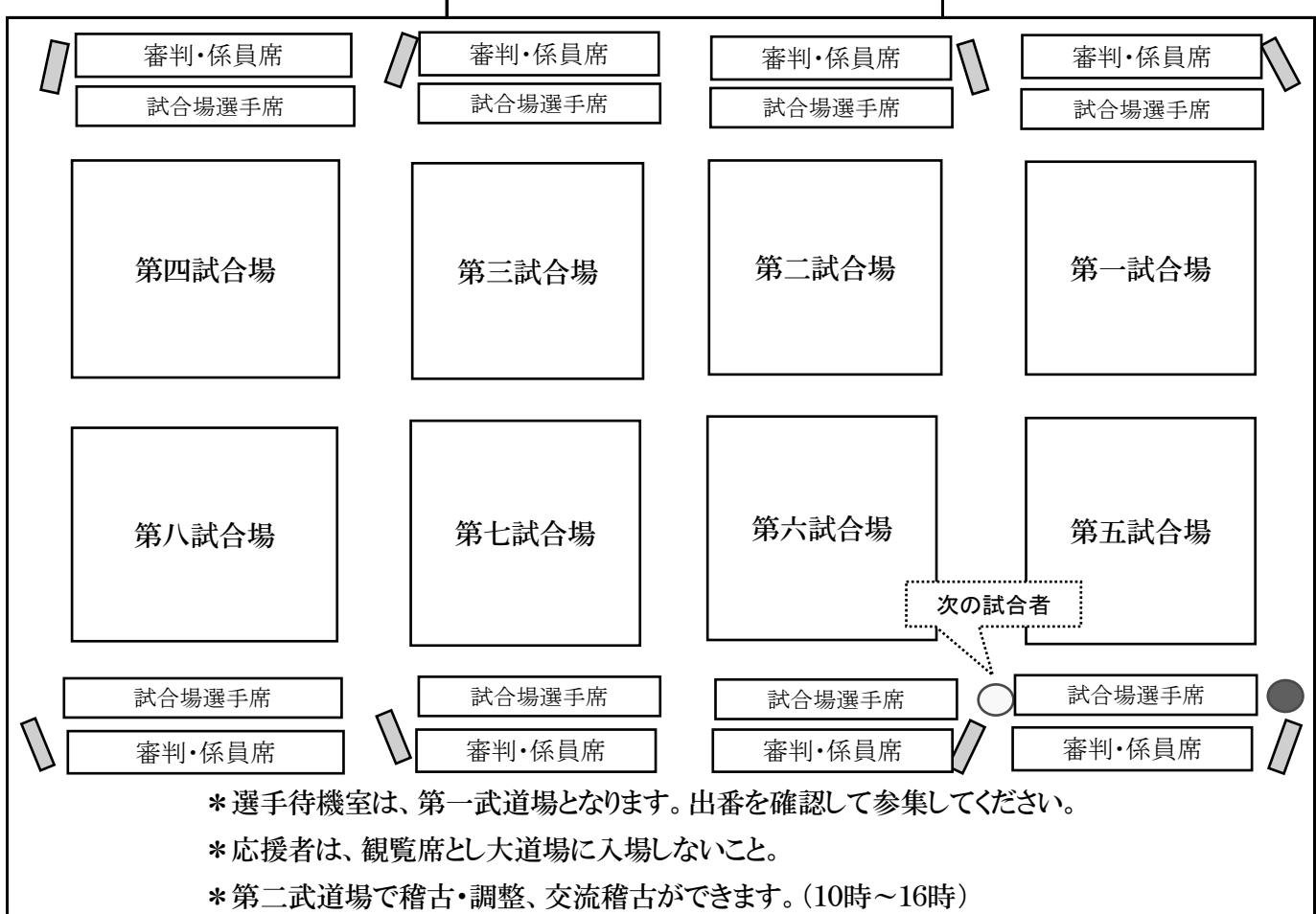
○試合進行表

	予定期刻	種別	第一試合場	第二試合場	第三試合場	第四試合場	第五試合場	第六試合場	第七試合場	第八試合場
1	10:00	男子の部								
	(約60分)	114試合	14試合	14試合	15試合	14試合	15試合	14試合	14試合	14試合
	11:00	(115名)	準々決勝	準決勝	決勝	準々決勝	準々決勝	準決勝		準々決勝
2	10:55	女子の部								
	(約50分)	81試合	11試合	9試合	10試合	10試合	11試合	10試合	10試合	10試合
	11:40	(82名)	準々決勝		準決勝	準々決勝	準々決勝	決勝	準決勝	準々決勝
3	11:40	団体の部	14試合	15試合	15試合	14試合	14試合	13試合	14試合	14試合
	(約300分)	試合								
		114チーム	14チーム	14チーム	15チーム	14チーム	14チーム	14チーム	15チーム	14チーム
				決勝						
	17:00		準々決勝	準決勝	準決勝	準々決勝	準々決勝			準々決勝

○試合は、各試合場毎、進行時間が異なるので注意して下さい。

○試合場見取り図

正面



* 選手待機室は、第一武道場となります。出番を確認して参集してください。

* 応援者は、観覧席とし大道場に入場しないこと。

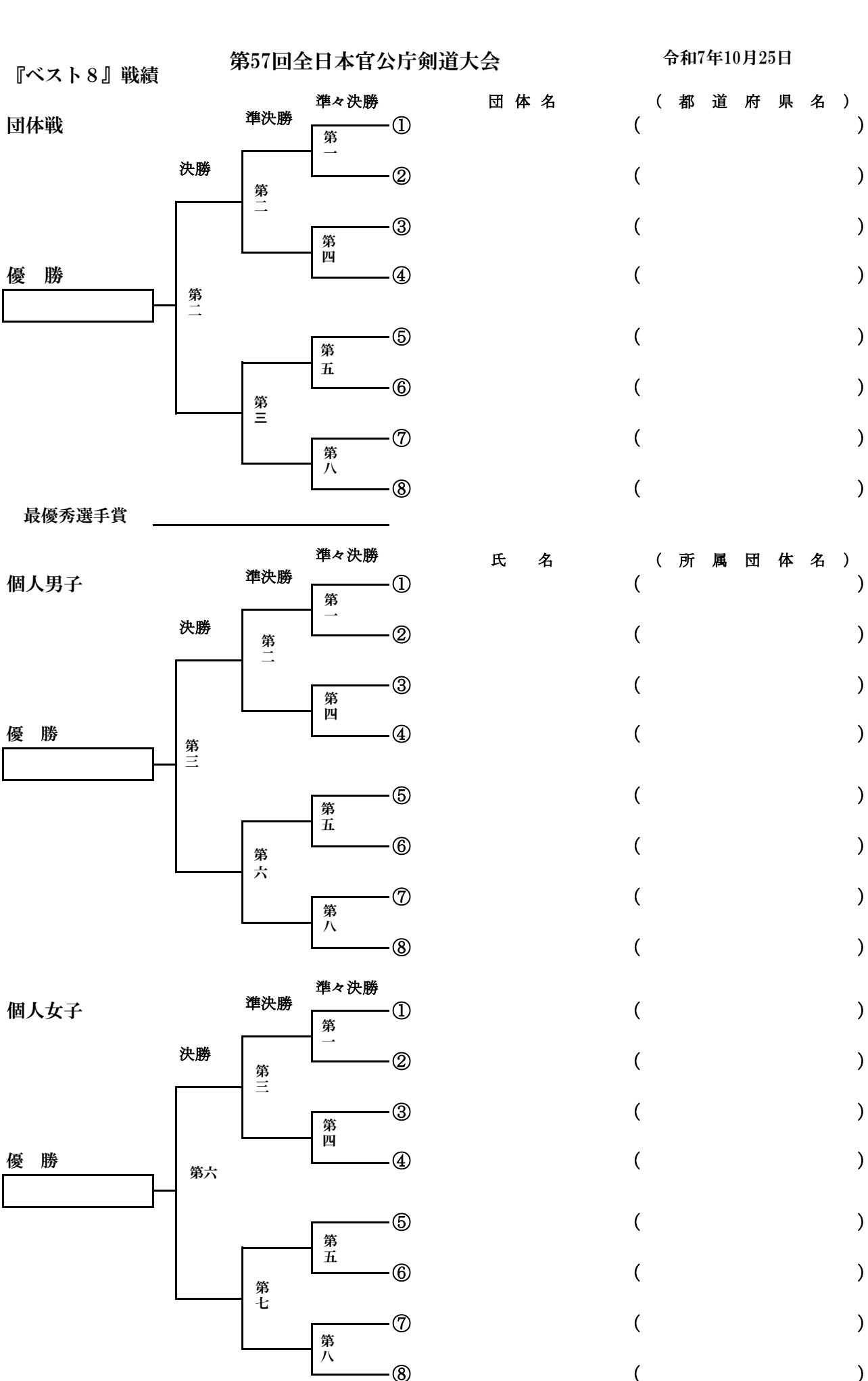
* 第二武道場で稽古・調整、交流稽古ができます。(10時～16時)

○大道場は、8試合場のため控えのスペースが大変狭くなっています。直近の試合者のみ入場し第一武道場の控室で待機するようにしてください。

『ベスト8』戦績

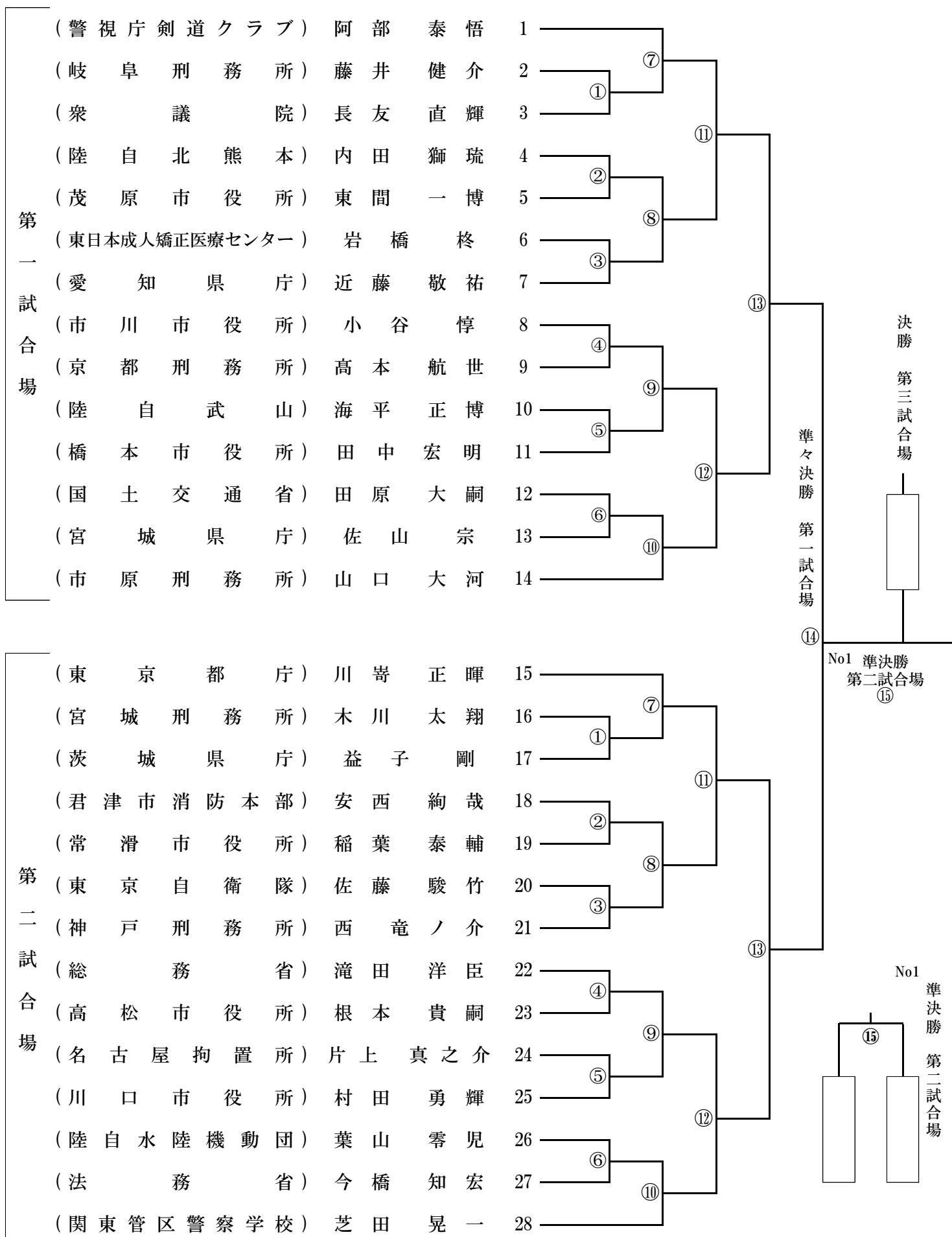
第57回全日本官公庁剣道大会

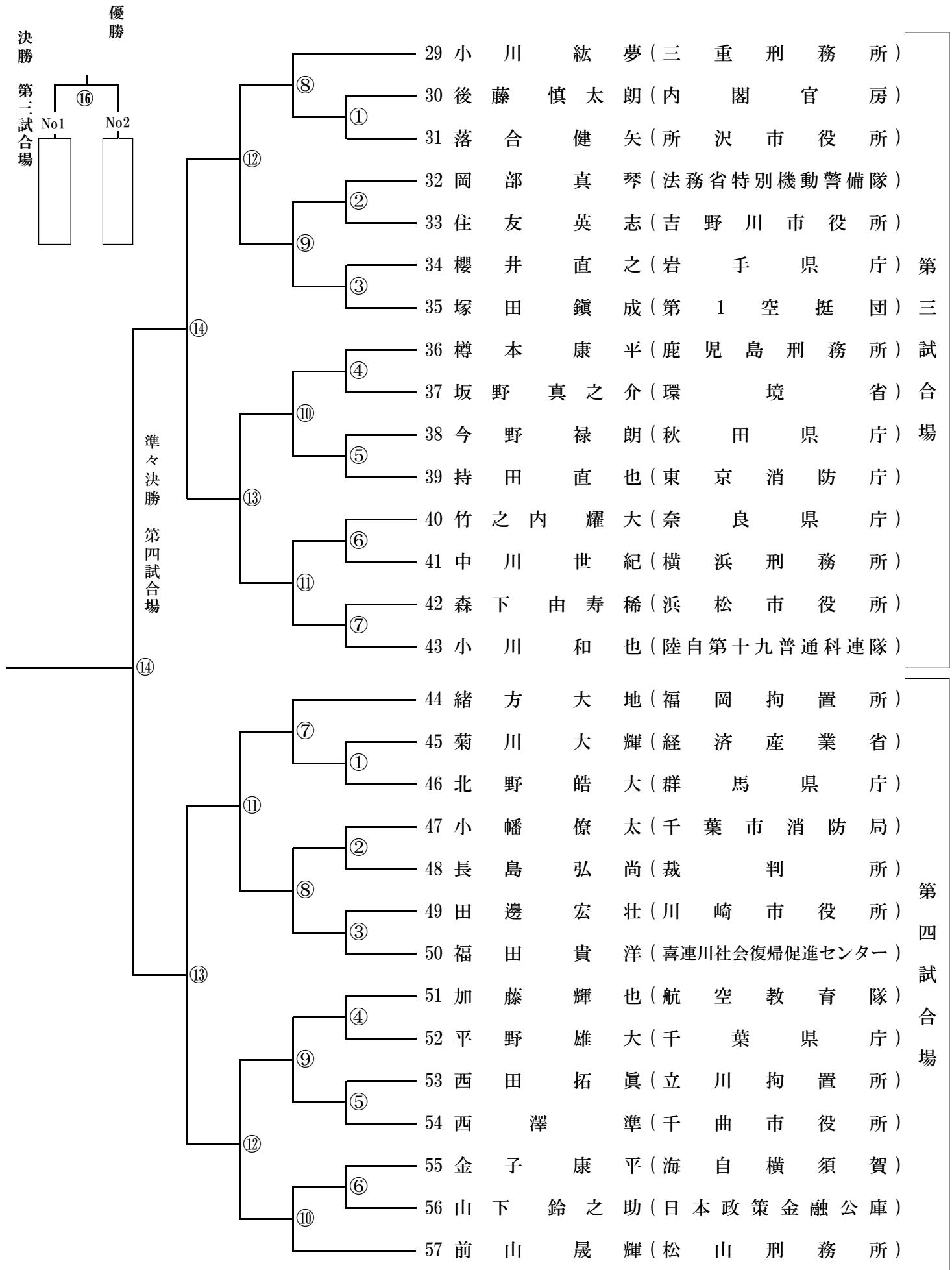
令和7年10月25日



男子個人の部 No.1 (57名)

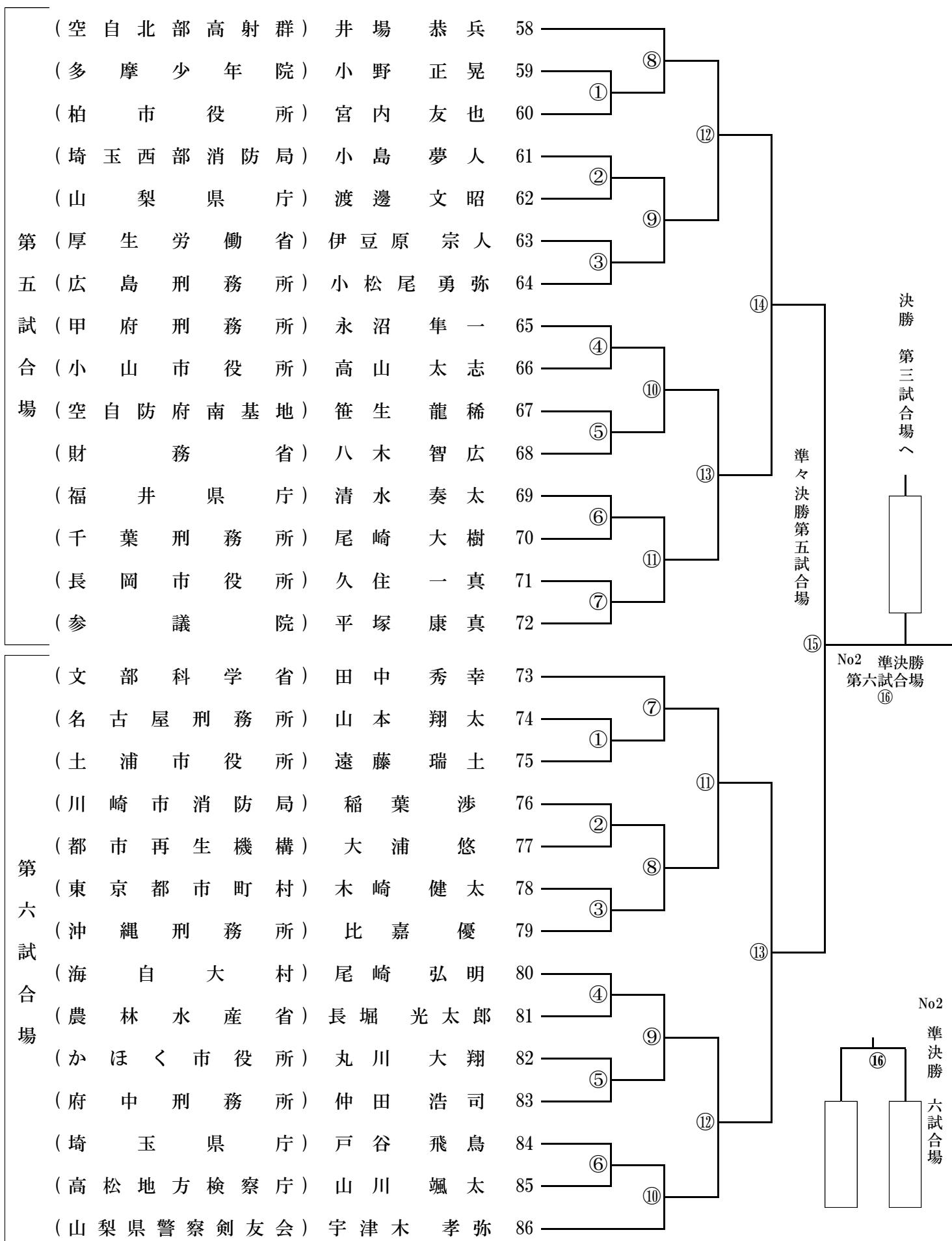
○試合順の番号は各試合場ごとの番号とする。

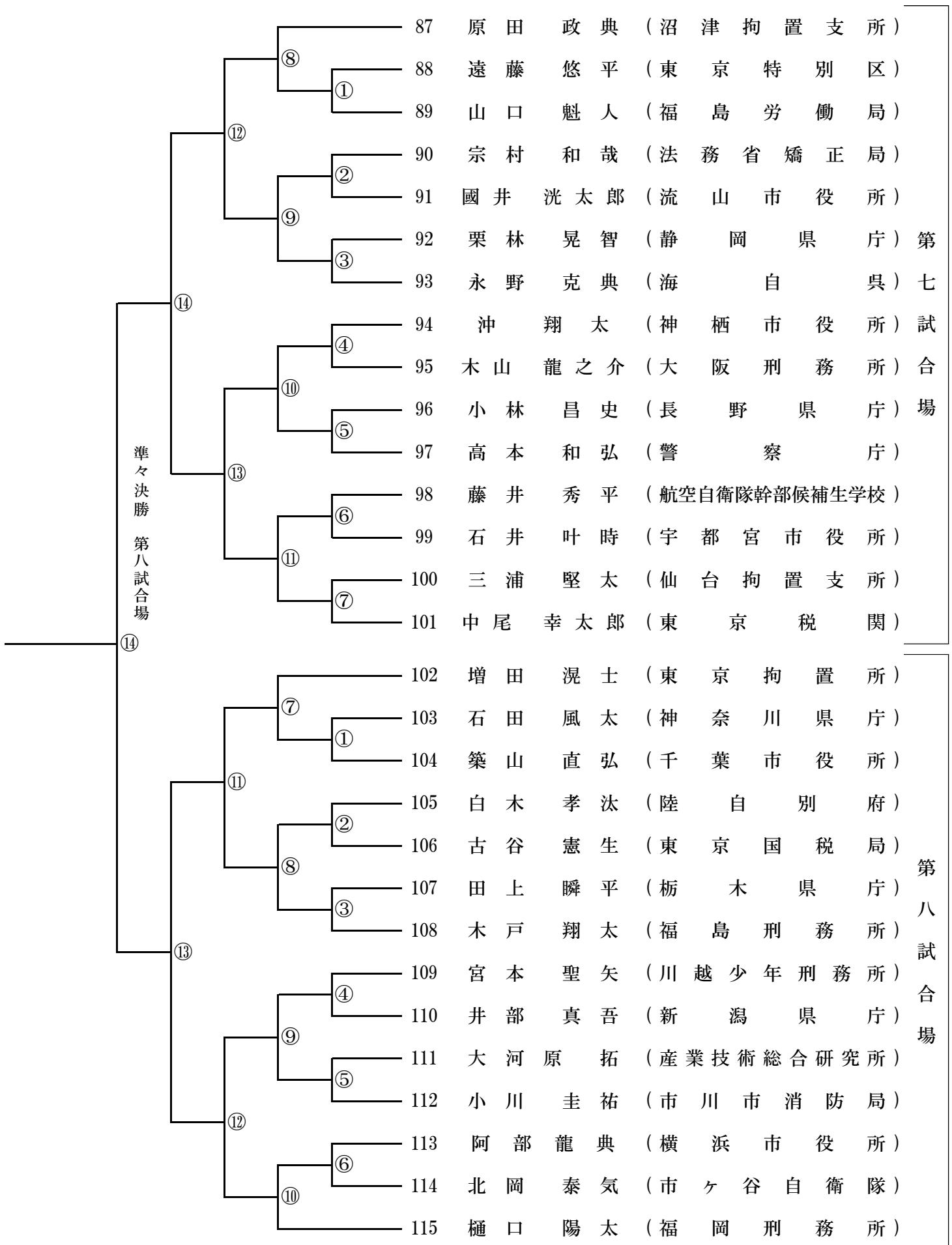




男子個人の部 No.2 (58名)

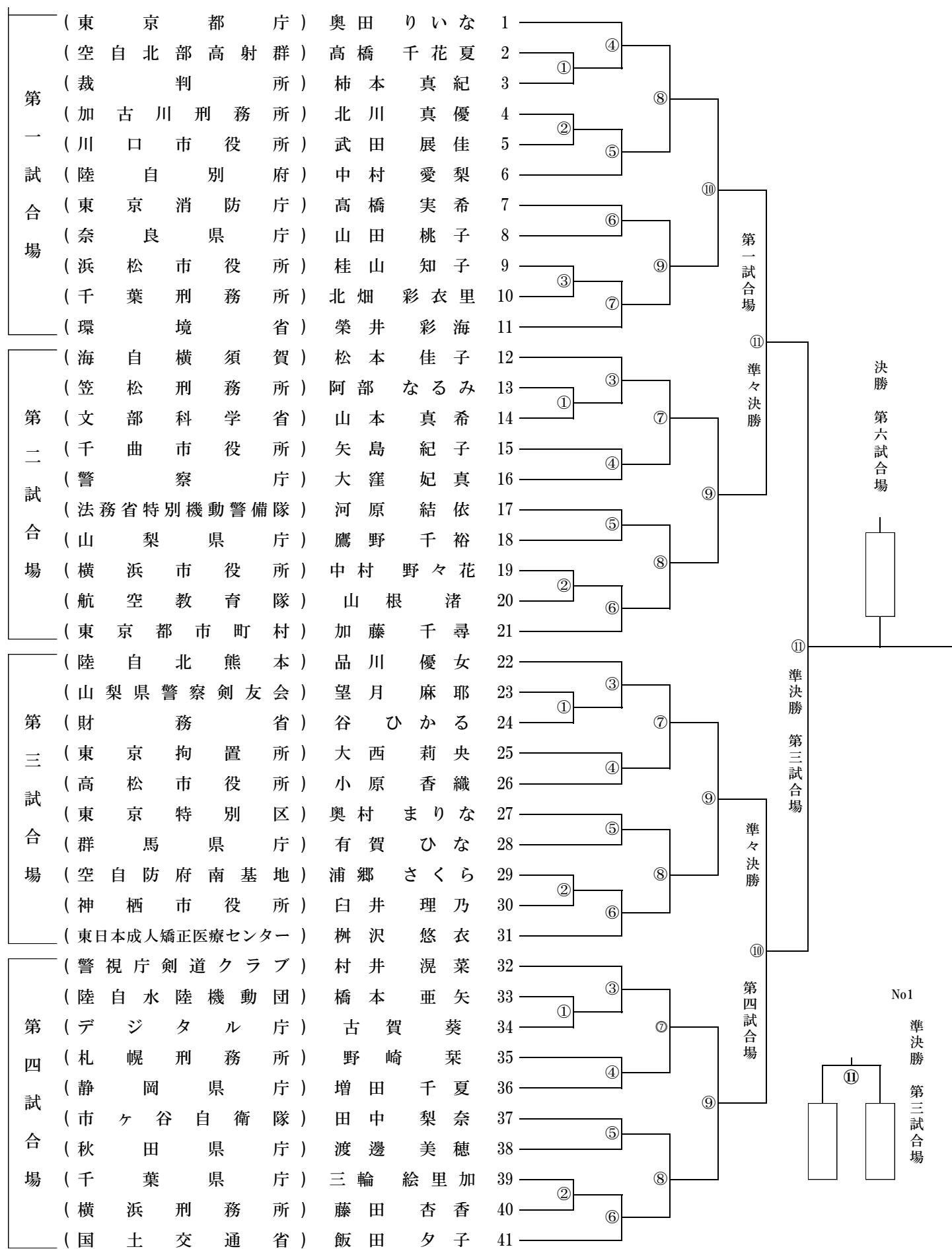
○試合順の番号は各試合場ごとの番号とする。





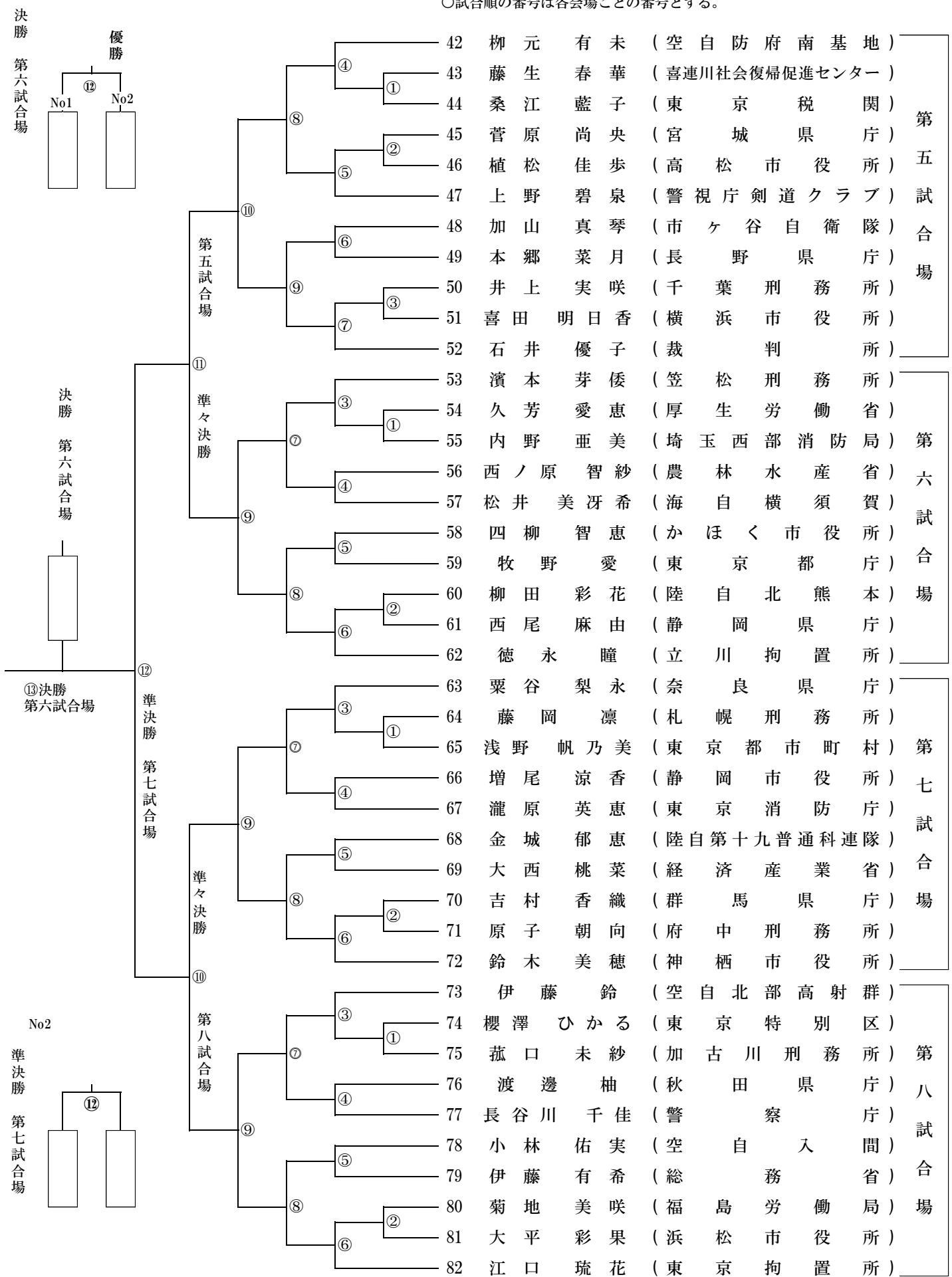
女子の部 No.1 (41名)

○試合順の番号は各試合場ごとの番号とする。



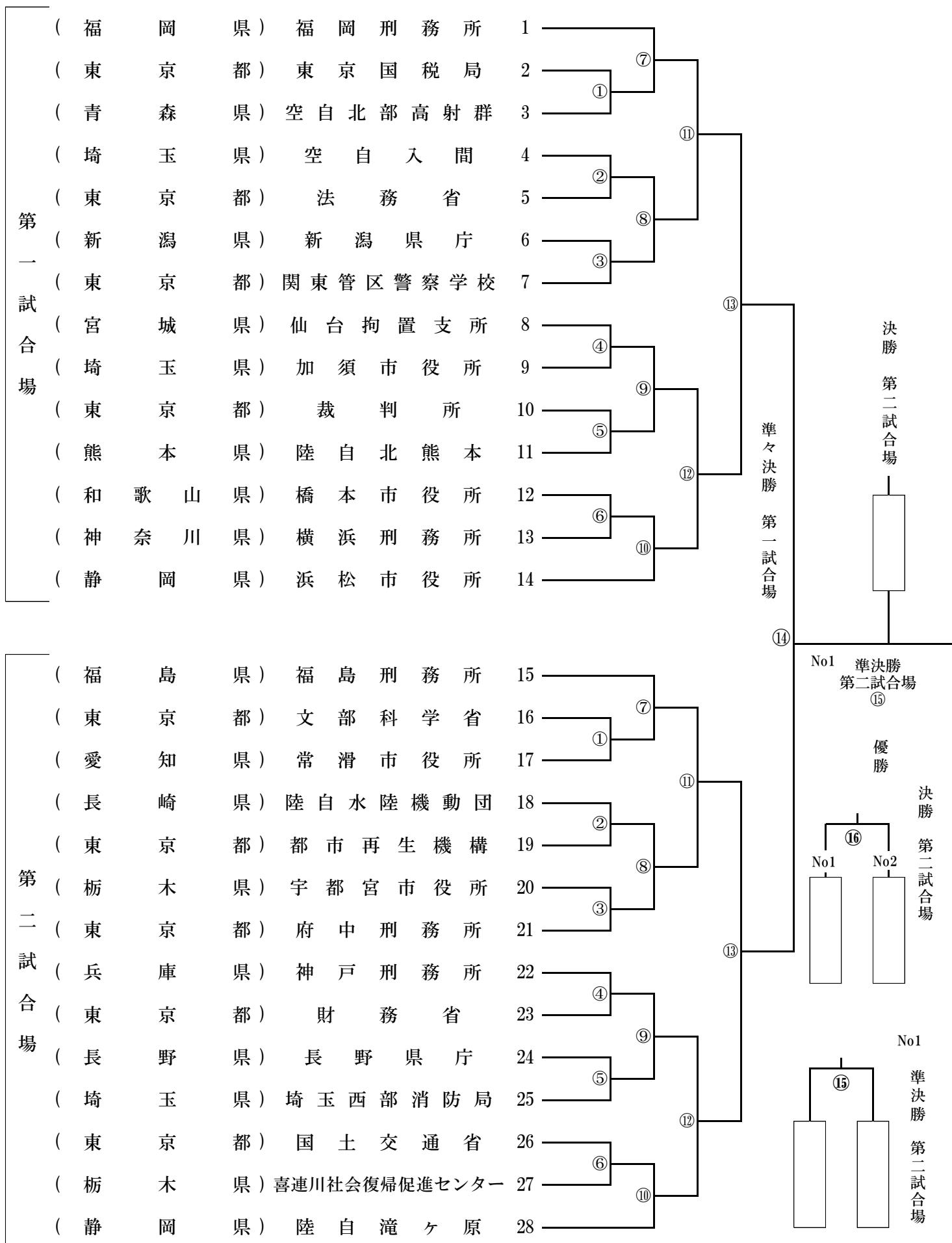
女子の部 No.2 (41名)

○試合順の番号は各会場ごとの番号とする。



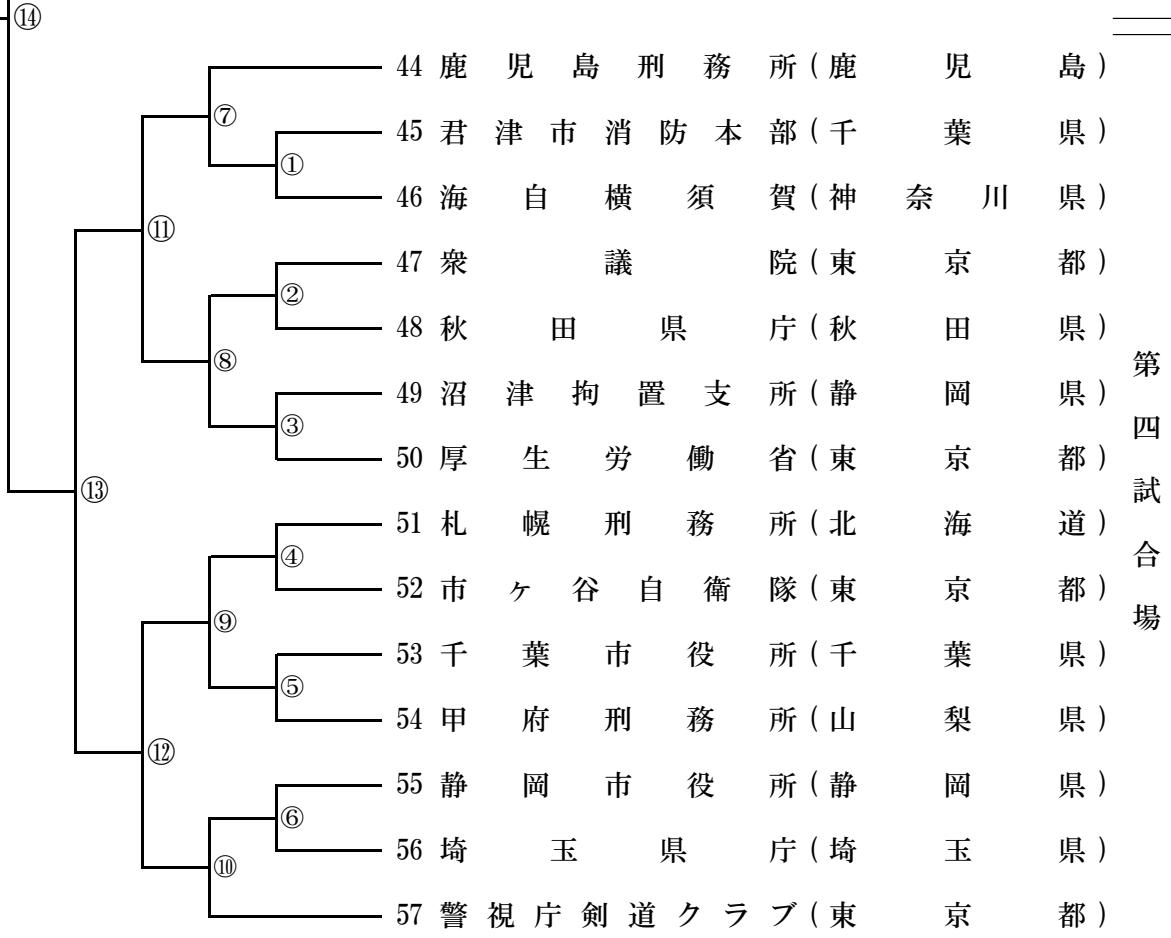
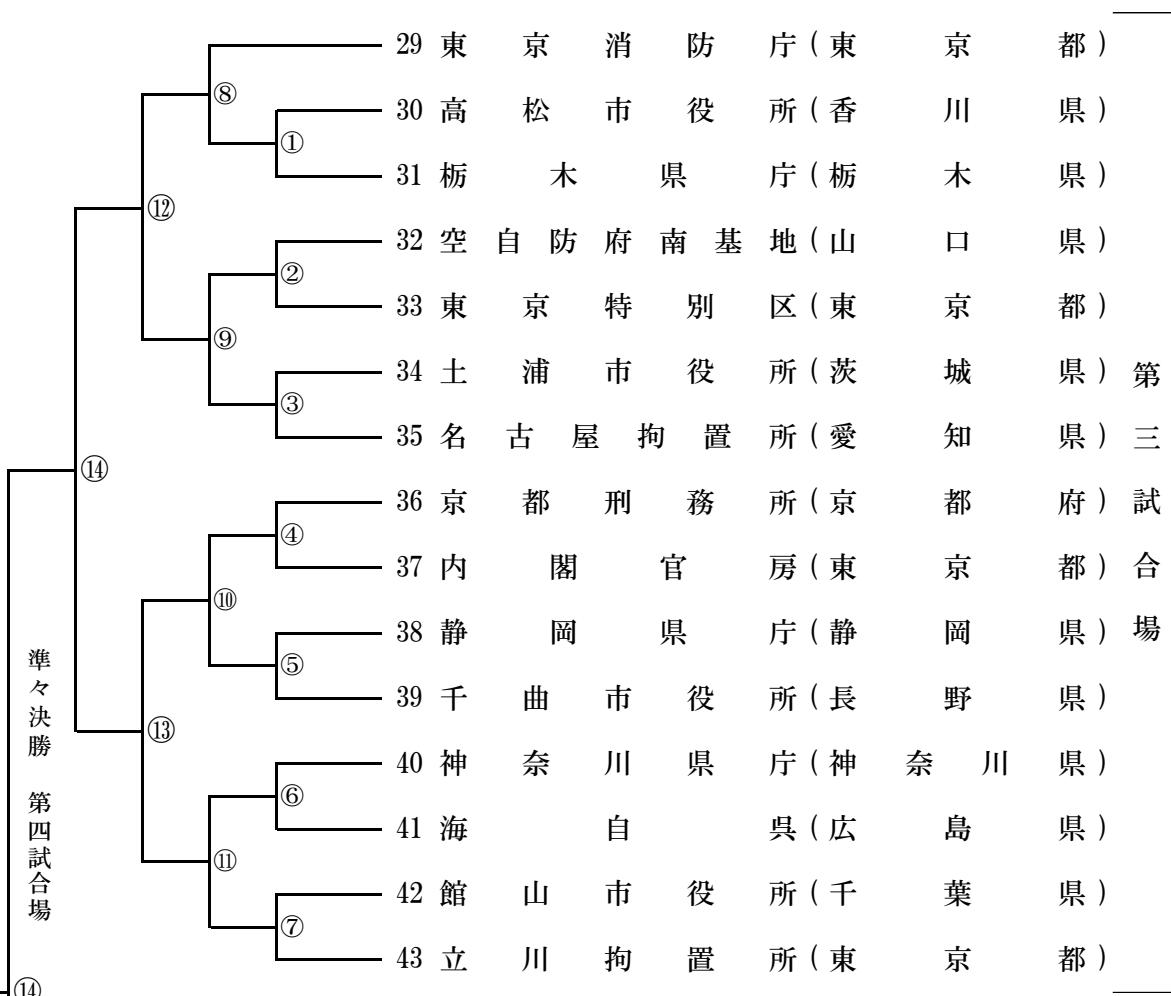
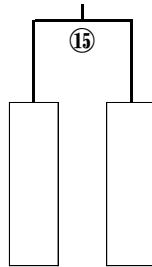
団体の部 No.1 (57チーム)

○試合順の番号は各会場ごとの番号とする。



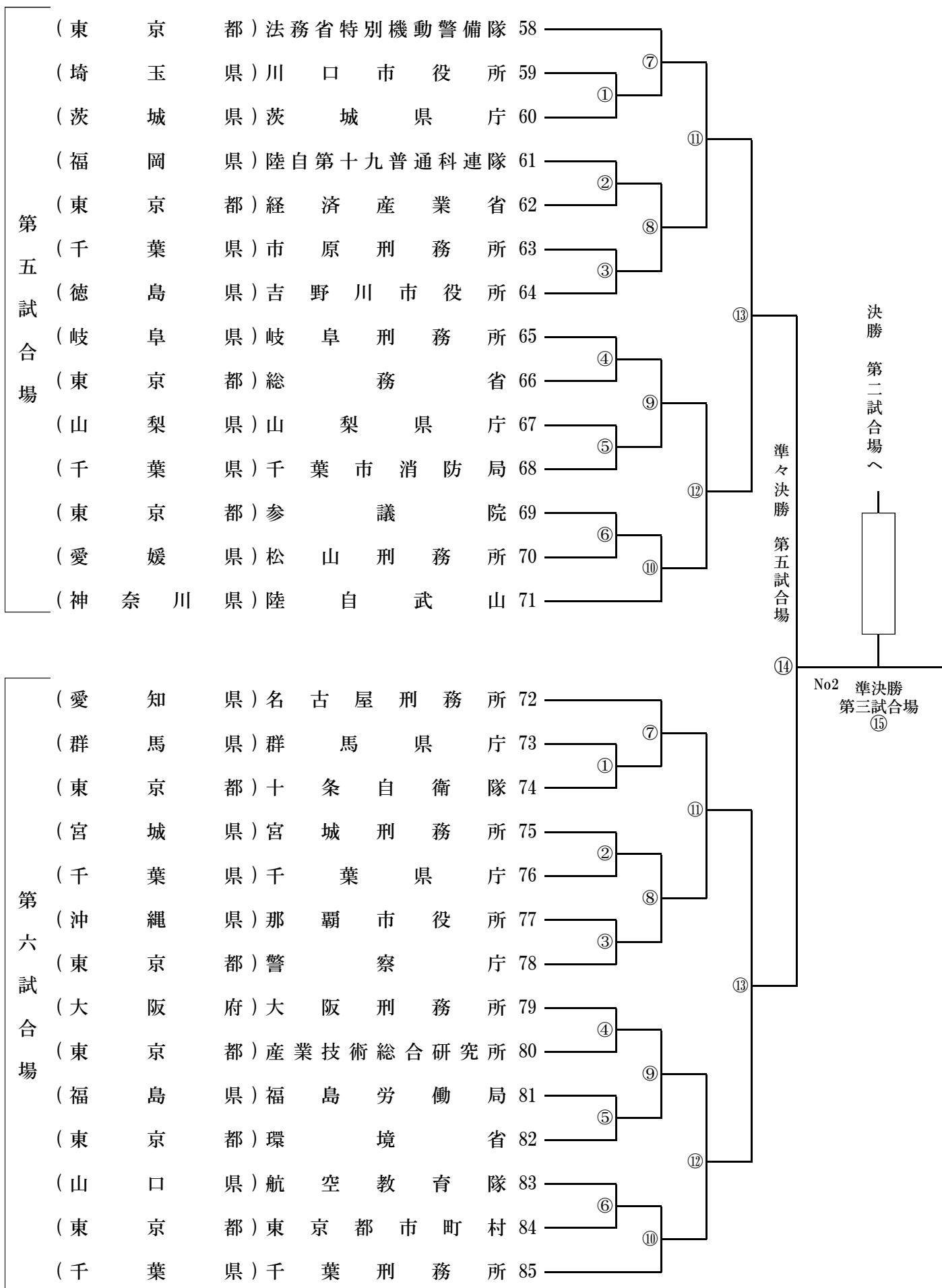
No.2

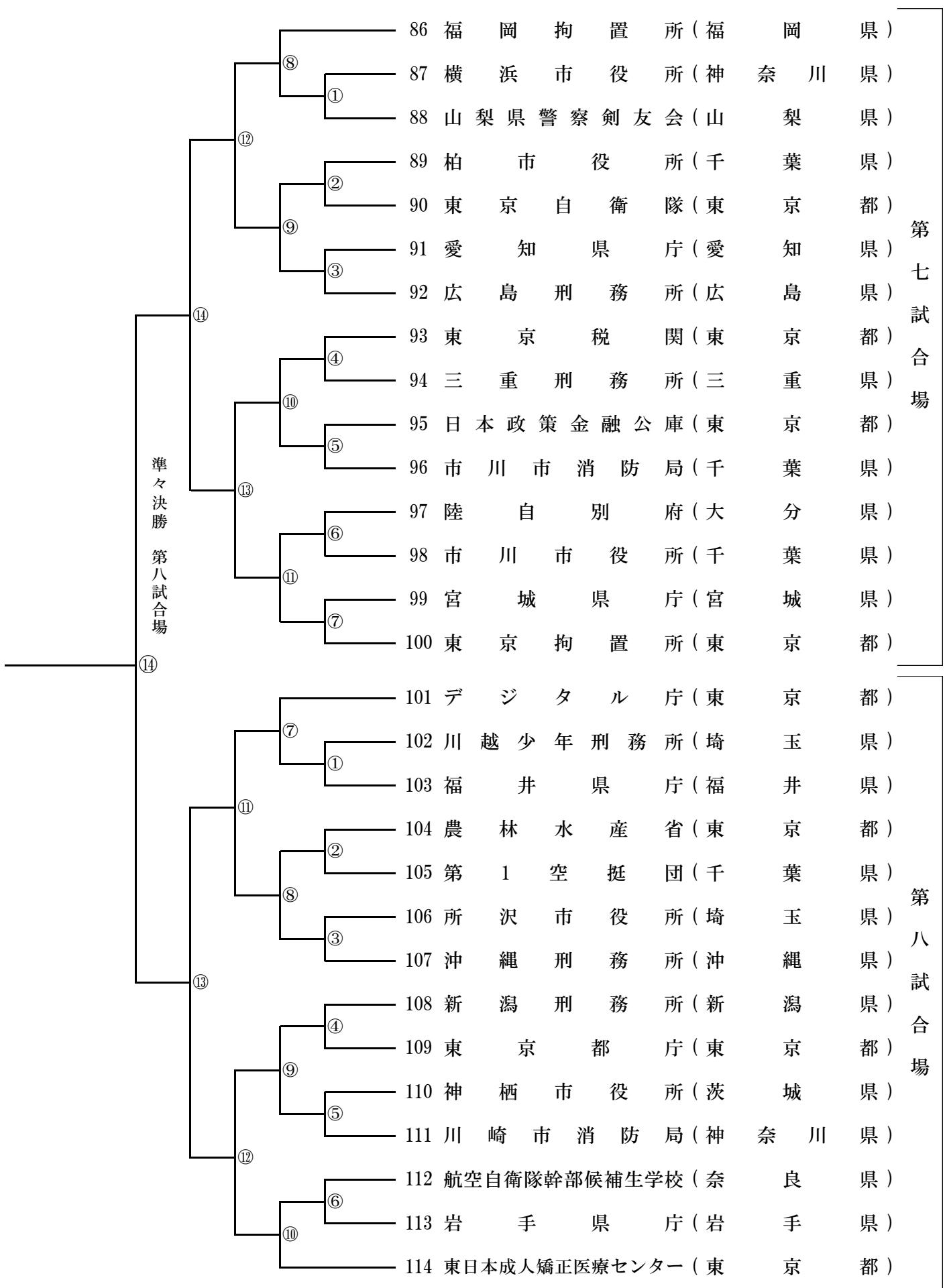
準決勝 第三試合場



団体の部 No.2 (57チーム)

○試合順の番号は各会場ごとの番号とする。





団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大將
1 福岡刑務所	氏 名	宮本	川崎	吉武	百田	志築
		晃希	将太朗	千勝	尚生	柊威
		段四	四	三	五	五
2 東京国税局	氏 名	高柳	鮫島	牟田	吉谷	大内山
		賢匠	優	宗紗	憲生	優汰
		段三	三	三	三	三
3 空自北部高射群	氏 名	高橋	伊藤	山村	備前	井場
		千花	聖哉	隆太朗	恵太郎	恭兵
		夏鈴	二	二	三	三
4 空自入間	氏 名	宮良	吉田	宮原	小田	荻野
		茂明	勇人	葵	甚永	龍馬
		段三	三	三	三	三
5 法務省	氏 名	大矢	大谷	大島	莊	金子
		保彰	開	恵太	雅行	亮
		段五	三	五	四	六
6 新潟県庁	氏 名	佐藤	佐藤	桑原	久保	井部
		壹誠	光	悠祐	慶祐	真吾
		段三	三	四	三	六
7 関東管区警察学校	氏 名	小川	中村	見市	野添	海保
		脩平	彰宏	剛志	親将	徹
		段六	四	七	四	六
8 仙台拘置支所	氏 名	大澤	佐藤	鈴木	星見	森脇
		誠弘	大地	健太	翔太	一馬
		段四	五	五	五	五
9 加須市役所	氏 名	鉢木	永野	堀口	濵谷	鈴木
		健心	雅大	雅人	裕貴	義博
		段三	六	六	七	七
10 裁判所	氏 名	室賀	吉岡	紅林	大崎	小舡
		一馬	雅海	颯馬	敦生	和紀
		段二	五	四	五	六
11 陸自北熊本	氏 名	宮本	工藤	齋藤	永田	杉下
		道隆	宙尊	聖彦	大武	尚悟
		段三	四	五	四	五
12 橋本市役所	氏 名	三浦	阪部	吉田	田中	織田
		康広	一未	憲治	宏明	真治
		段六	六	七	三	七
13 横浜刑務所	氏 名	藤田	古郡	遼野	棲井	浦
		夢翔	章皓	井匡	叶流	良太
		段三	四	三	四	四
14 浜松市役所	氏 名	村岡	井口	野中	本多	森
		浩輔	孝介	颯	宏充	真也
		段三	四	四	五	六
15 福島刑務所	氏 名	木戸	佐藤	今野	高野	黒羽
		翔太	蒼士	祐希	将志	道人
		段三	二	六	四	六
16 文部科学省	氏 名	長谷川	河原林	村崎	橘	花田
		倫太郎	友晴	謙志朗	風吉	大作
		段五	四	五	五	七
17 常滑市役所	氏 名	稻葉	米田	伊藤	小林	浜崎
		泰輔	英司	真敬	祐輔	博充
		段六	二	四	七	六
18 陸自水陸機動団	氏 名	葉山	東丸	相馬	松本	糸田
		零児	和光	裕矢	隼侍	堯史
		段三	五	三	七	四
19 都市再生機構	氏 名	小菅	小池	大浦	安藤	小松原
		光徳	太陽	悠	康雄	茂
		段四	四	五	五	六
20 宇都宮市役所	氏 名	石井	井上	大槻	阿部	近藤
		叶時	沙瑛	智彦	隼人	亮太
		段三	三	四	三	六
21 府中刑務所	氏 名	金沢	長岡	佐々木	伊藤	高木
		魁	創希	佳佑	玖太朗	裕生
		段四	五	六	四	四
22 神戸刑務所	氏 名	西竜	後迫	山本	岡上	山本
		ノ介	陸都	陽介	大晟	将樹
		段四	三	三	四	四
23 財務省	氏 名	青木	向江	村上	谷	武藤
		瞭	脇航	将隆	ひかる	祐樹
		段二	三	四	六	六
24 長野県庁	氏 名	本郷	内藤	石井	穂苅	西澤
		菜月	大輔	信幸	士郎	敏宏
		段五	六	六	七	七
25 埼玉西部消防局	氏 名	高橋	内野	小島	森	遠藤
		藏斗	亞美	夢人	雄哉	利夫
		段三	五	四	六	七
26 国土交通省	氏 名	片岡	針田	見山	小室	小室
		弘貴	竜一郎	宗士郎	玲基	玲雄
		段五	四	四	四	四
27 促進セントラル社会復帰	氏 名	千島	飯塚	奥田	渡會	繁田
		知浩	保斗	統希	志成	拓明
		段五	四	四	五	六
28 陸自滝ヶ原	氏 名	若月	吉村	鈴木	黒田	上岡
		翔	佳祐	大介	好一	祐太
		段四	五	六	四	六
29 東京消防庁	氏 名	安部	安村	斎藤	草間	草間
		浩史	康太朗	保舜	勇樹	友貴
		段三	三	五	四	六
30 高松市役所	氏 名	植松	小原	根本	谷本	北山
		佳歩	香織	貴嗣	雄太	幸治
		段四	五	三	四	三
31 栃木県庁	氏 名	田上	竹吉	笹崎	齊藤	黒崎
		瞬平	功成	勇太	翔榮	利久
		段三	三	五	四	五
32 空自防府南基地	氏 名	柳元	浦郷	伊藤	濱岡	上野
		有未	さくら	駿	篤斗	凌佑
		段四	四	三	初	六

団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
33 東京特別区	氏名	野田龍之介	渡邊亮太	野間悠佑	平直樹	宮崎正
	段	四	三	四	五	六
	氏名	工藤一慶	内田祐貴	高橋将之	長瀬健郎	遠藤瑞士
	段	三	二	三	四	七
34 土浦市役所	氏名	岡田航太	澤井友貴	岩坂亮	佐々木佑樹	浅田祐樹
	段	四	五	四	五	五
	氏名	土橋孝史	竹垣勇人	久保翔太	山中勇人	中田洸亮
	段	五	五	七	六	五
35 名古屋拘置所	氏名	岡田航太	澤井友貴	岩坂亮	佐々木佑樹	浅田祐樹
	段	四	五	四	五	五
	氏名	土橋孝史	竹垣勇人	久保翔太	山中勇人	中田洸亮
	段	五	五	七	六	五
36 京都刑務所	氏名	稻積佑太	青木颯太朗	山田健人	中村祐一郎	福田和実
	段	三	三	五	四	五
	氏名	栗林晃智	蓮池仁美	中川裕登	石川成明	植田達志
	段	三	三	五	五	六
37 内閣官房	氏名	山城和史	矢島紀子	宮下朱里	西澤準	米澤佑亮
	段	四	三	二	五	五
	氏名	栗原大輝	錦織勇太	松嶋慎太郎	石田風太	大根田悠登
	段	四	三	四	四	四
38 静岡県庁	氏名	山城和史	矢島紀子	宮下朱里	西澤準	米澤佑亮
	段	四	三	二	五	五
	氏名	栗林晃智	蓮池仁美	中川裕登	石川成明	植田達志
	段	三	三	五	五	六
39 千曲市役所	氏名	山城和史	矢島紀子	宮下朱里	西澤準	米澤佑亮
	段	四	三	二	五	五
	氏名	栗原大輝	錦織勇太	松嶋慎太郎	石田風太	大根田悠登
	段	四	三	四	四	四
40 神奈川県庁	氏名	野田龍之介	渡邊亮太	野間悠佑	平直樹	宮崎正
	段	四	三	四	五	六
	氏名	工藤一慶	内田祐貴	高橋将之	長瀬健郎	遠藤瑞士
	段	三	二	三	四	七
41 海自呉	氏名	楠原魁斗	加茂正志	富島誠司	鈴木耀崇	永野克典
	段	二	三	六	四	三
	氏名	吉田琉己	八木拓真	尾崎章太	加藤彦彦	石橋真
	段	三	三	四	五	七
42 館山市役所	氏名	小野瑠斗	林龍次郎	柏木真宙	武石和輝	伊藤和樹
	段	三	三	五	四	三
	氏名	上健士郎	菖蒲拓海	竹之内聰	岡部陽介	山本将弘
	段	三	四	五	四	六
43 立川拘置所	氏名	熊谷瞭	安西絢哉	新野駿	志保澤昇吾	須藤涼太
	段	三	三	三	三	四
	氏名	篠山俊幸	外山義孝	菊地清孝	船木成太朗	小山内一希
	段	三	四	四	三	五
44 鹿児島刑務所	氏名	上健士郎	菖蒲拓海	竹之内聰	岡部陽介	山本将弘
	段	三	四	五	四	六
	氏名	篠山俊幸	外山義孝	菊地清孝	船木成太朗	小山内一希
	段	三	四	四	五	六
45 君津市消防本部	氏名	篠山直弘	葛西博文	杉山彰孝	日野正仁	丹羽雅士
	段	四	五	六	六	五
	氏名	篠山直弘	葛西博文	杉山彰孝	日野正仁	丹羽雅士
	段	四	五	六	六	五
46 海自横須賀	氏名	小椋遙斗	山田健太	金子康平	杉本獎	内田光
	段	二	三	五	二	四
	氏名	小椋遙斗	山田健太	金子康平	杉本獎	内田光
	段	二	三	五	二	四
47 衆議院	氏名	渡邊俊介	飯田匡	小川隼人	藤川智也	阿知波尚登
	段	四	四	五	五	五
	氏名	渡邊俊介	飯田匡	小川隼人	藤川智也	阿知波尚登
	段	四	四	五	五	五
48 秋田県庁	氏名	渡邊美穂	佐藤夏輝	今野禄朗	渡邊柚	諸井忠道
	段	四	三	四	五	七
	氏名	渡邊美穂	佐藤夏輝	今野禄朗	渡邊柚	諸井忠道
	段	四	三	四	五	七
49 沼津拘置支所	氏名	本間一輝	渡邊健成	菊池章太	原田政典	犬丸大輔
	段	三	四	四	七	四
	氏名	本間一輝	渡邊健成	菊池章太	原田政典	犬丸大輔
	段	三	四	四	七	四
50 厚生労働省	氏名	水島武大	入内島大裕	伊豆原宗人	内山政智	林優
	段	五	四	五	六	六
	氏名	水島武大	入内島大裕	伊豆原宗人	内山政智	林優
	段	五	四	五	六	六
51 札幌刑務所	氏名	清水優也	炭屋東吾	船木成太朗	小山内一希	佐賀駿介
	段	四	四	三	四	五
	氏名	清水優也	炭屋東吾	船木成太朗	小山内一希	佐賀駿介
	段	四	四	三	四	五
52 市ヶ谷自衛隊	氏名	海野俊幸	外山義孝	菊地清孝	石川大輔	丹羽雅士
	段	三	四	四	五	六
	氏名	海野俊幸	外山義孝	菊地清孝	石川大輔	丹羽雅士
	段	三	四	四	五	六
53 千葉市役所	氏名	築山直弘	葛西博文	杉山彰孝	日野正仁	橋本直明
	段	四	五	六	六	五
	氏名	築山直弘	葛西博文	杉山彰孝	日野正仁	橋本直明
	段	四	五	六	六	五
54 甲府刑務所	氏名	金子亮介	藤田光希	坂本大河	中田圭紀	山口義修
	段	六	四	五	五	六
	氏名	金子亮介	藤田光希	坂本大河	中田圭紀	山口義修
	段	六	四	五	五	六
55 静岡市役所	氏名	岡野充	増尾涼香	古牧直久	外屋敷智香	窪田光洋
	段	四	四	五	四	五
	氏名	岡野充	増尾涼香	古牧直久	外屋敷智香	窪田光洋
	段	四	四	五	四	五
56 埼玉県庁	氏名	森川泰大	伊藤航	河村泰成	鎌木彩斗	佐藤光
	段	四	三	四	三	三
	氏名	森川泰大	伊藤航	河村泰成	鎌木彩斗	佐藤光
	段	四	三	四	三	三
57 警視庁剣道クラブ	氏名	池田千浩	野口隼	太田垣友馬	平野翔太	奥雄斗
	段	四	四	四	四	五
	氏名	池田千浩	野口隼	太田垣友馬	平野翔太	奥雄斗
	段	四	四	四	四	五
58 機法動務警備特隊別	氏名	馬渕光弥	池西無我	野中基裕	松澤春生	山田紘葵
	段	五	七	六	四	四
	氏名	馬渕光弥	池西無我	野中基裕	松澤春生	山田紘葵
	段	五	七	六	四	四
59 川口市役所	氏名	宮村昇	山村真也	山口孝郁	村田勇輝	茂田大貴
	段	五	三	四	六	六
	氏名	宮村昇	山村真也	山口孝郁	村田勇輝	茂田大貴
	段	五	三	四	六	六
60 茨城県庁	氏名	荒木智也	塙澤涼太	作山崇弘	吉村省悟	佐竹裕哲
	段	四	三	五	五	七
	氏名	荒木智也	塙澤涼太	作山崇弘	吉村省悟	佐竹裕哲
	段	四	三	五	五	七
61 普陸通自科第十九連隊九	氏名	間野豪斗	瀬戸口洋人	小川和也	永原龍二	西野博文
	段	三	四	六	三	五
	氏名	間野豪斗	瀬戸口洋人	小川和也	永原龍二	西野博文
	段	三	四	六	三	五
62 経済産業省	氏名	菊川大輝	猿渡功己	渡辺一帆	庄剛矢	海野将司
	段	四	三	五	五	四
	氏名	菊川大輝	猿渡功己	渡辺一帆	庄剛矢	海野将司
	段	四	三	五	五	四
63 市原刑務所	氏名	藤城芳生	杉山歩	水流添雄太	野田尚志	山口大河
	段	四	五	五	五	五
	氏名	藤城芳生	杉山歩	水流添雄太	野田尚志	山口大河
	段	四	五	五	五	五
64 吉野川市役所	氏名	住友英志	着藤永大	岡田洋典	海北勝弘	日和田慈海
	段	三	二	二	三	七
	氏名	住友英志	着藤永大	岡田洋典	海北勝弘	日和田慈海
	段	三	二	二	三	七

団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大將
65 岐阜刑務所	氏名	村瀬俊哉	池田雄也	奥田仁也	高井田倅大	大橋賢也
	段	四	四	三	四	五
	氏名	滝田洋臣	渡邊真之	畦地靖也	菅原義剛	大迫幹生
66 総務省	段	三	三	四	三	六
	氏名	石合秀隆	末木康太	早川一也	遠藤由樹	小林義仁
	段	三	二	四	七	七
67 山梨県庁	氏名	江口俊兵	白濱将志	三瓶清大	小幡頌太	小幡僚太
	段	三	三	四	五	四
	氏名	西合蓮	西山響	有田太一	杉野友祐	片山峻輔
68 千葉市消防局	段	四	三	四	三	四
	氏名	平塚康真	小川登志雄	山田寛己	堀越竜矢	堀越竜矢
	段	四	五	三	六	六
69 参議院	氏名	欠	平塚康真	小川登志雄	山田寛己	堀越竜矢
	段	四	四	五	三	六
	氏名	西本蓮	西山響	有田太一	杉野友祐	片山峻輔
70 松山刑務所	段	四	三	四	三	四
	氏名	海平正博	梶田圭吾	池内俊夫	西蘭良太郎	川合慎一
	段	六	五	七	七	六
71 陸自武山	氏名	富田貴斗	堀尾斗真	橋本涼矢	海野祐介	藤原郁哉
	段	四	三	五	六	六
	氏名	富田貴斗	堀尾斗真	橋本涼矢	海野祐介	藤原郁哉
72 名古屋刑務所	段	四	三	五	六	六
	氏名	今井亞弥	森田剛貴	柳井魁	野村元哉	松井泰典
	段	二	三	四	三	四
73 群馬県庁	氏名	正代貴倫	藤瀬俊	鈴木健太郎	岩田健司	石井勝隆
	段	四	四	六	六	六
	氏名	柿下光輔	渡邊佑莉	水沼太希	石川裕人	久道匠
74 十一条自衛隊	段	三	四	四	四	四
	氏名	宮城刑務所	河田昭徳	河田雄貴	繩田凌生	杉本昴将
	段	三	二	三	三	四
75 宮城刑務所	氏名	柿下光輔	渡邊佑莉	水沼太希	石川裕人	久道匠
	段	三	四	四	四	四
	氏名	千葉県庁	鈴木颯太	富田佑太郎	五十嵐匠	間宮駿輔
76 千葉県庁	段	三	三	三	五	五
	氏名	那覇市役所	松田康生	松田欠	前田正太	比嘉周作
	段	初		四		六
77 那覇市役所	氏名	78 警察庁	渡瀬勝	前田足立	岡田佑介	興梠亮太
	段	六	五	五	六	七
	氏名	79 大阪刑務所	細川蓮也	川上大星	森島諒	泉勇人
79 大阪刑務所	段	四	四	三	三	五
	氏名	80 総産合業研究技術所	大河原拓	古郷敦史	岡垣淳	依田智
	段	三	四	五	七	七
81 福島労働局	氏名	82 環境省	榮井彩海	袖野新	瀬川雄三	恵美健央
	段	三	二	三	三	四
	氏名	83 航空教育隊	幸昭徳	河田雄貴	繩田凌生	杉本昴将
83 航空教育隊	段	三	四	二	三	四
	氏名	84 東京都市町村	大久保一太	井上寿明	井上和也	畠邊稔
	段	五	四	六	六	六
85 千葉刑務所	氏名	86 福岡拘置所	岩崎有真	水流添翔太	長島正彦	吉清真之介
	段	三	四	五	四	五
	氏名	87 横浜市役所	森風翔	川元武士	辻佳臣	中島大将
87 横浜市役所	段	四	四	五	五	六
	氏名	88 警山察剣梨友会県	河合宏樹	小笠原開斗	大西健太	田仲真清
	段	二	四	三	四	五
88 警山察剣梨友会県	氏名	89 柏市役所	矢川富眸	田中智成	宇津木孝弥	中澤嘉洋
	段	四	四	五	六	七
	氏名	90 東京自衛隊	渡邊辰巳	佐藤駿竹	吉田和博	瀧山健太
90 東京自衛隊	段	四	五	七	七	六
	氏名	91 愛知県庁	棚瀬慧	近藤敬祐	木村誠	内藤哲人
	段	三	四	二	七	五
91 愛知県庁	氏名	92 広島刑務所	寺尾崇	松田隆聖	山本夏輝	中山祐
	段	五	五	五	五	六
	氏名	93 東京税関	寺浦吏毅	田浦幸太郎	中尾尚希	古賀滋成
93 東京税関	段	二	四	四	四	五
	氏名	94 三重刑務所	田浦吏毅	中尾幸太郎	寺尾崇	小川紘夢
	段	四	六	四	五	五
94 三重刑務所	氏名	95 日本政策金融公庫	山下鈴之助	笛井和平	中野純平	関健作
	段	四	三	三	三	七
	氏名	96 市川市消防局	山田洋翔	山田洋次	土屋俊憲	小川圭祐
96 市川市消防局	段	四	七	七	四	六

団体名	種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大將
97 陸自別府	氏名	中島滉四郎	小野大輝	植田照和	本村一暁	米田志穂
	段	三	三	六	五	五
98 市川市役所	氏名	小谷航	大村直樹	宮田大地	北野憂樹	小谷惇
	段	四	三	五	五	六
99 宮城県庁	氏名	佐々木賢太	菅原尚央	佐々木佳祐	田代大悟	佐山宗
	段	三	四	三	三	四
100 東京拘置所	氏名	西野寛人	小林大輝	松下聖	須田友紀	池田愛
	段	四	六	四	四	六
101 デジタル庁	氏名	木内大輔	武次和志	古賀葵	菅原義剛	武井耕一
	段	二	三	三	三	六
102 川越少年刑務所	氏名	小澤渉	西村俊紀	樋浦健	小泉元	原田英補
	段	四	三	五	四	五
103 福井県庁	氏名	清水奏太	甲辰太朗	土屋皓平	大橋真俊	宮本政和
	段	二	初	四	二	五
104 農林水産省	氏名	長堀光太郎	小野歩	岩田隆典	西ノ原智紗	樋渡公愛
	段	四	四	四	五	六
105 第1空挺団	氏名	齊藤大偉也	海川疾風	沖拓海	中島大樹	狼輪主ジユリアス
	段	三	五	三	三	四
106 所沢市役所	氏名	片岡侑大	山田龍	横村淳一	山本浩平	落合健矢
	段	三	五	六	四	六
107 沖縄刑務所	氏名	白玉孝彬	佐藤虎太郎	桃原竜矢	渡嘉敷貴允	栄翔平
	段	五	四	六	五	五
108 新潟刑務所	氏名	神代竜汰	土田凌嘉	米崎裕樹	中野巧太	松本諒
	段	三	四	五	六	五
109 東京都庁	氏名	川本丈夫	田中悠貴	白井翔平	東出唯志	森洋樹
	段	三	四	五	六	六
110 神栖市役所	氏名	増田寛	木本裕文	高津英輔	金井清志	寺島清志
	段	四	三	五	六	七
111 川崎市消防局	氏名	尾崎一雄	稻葉涉	柳勇太	畠澤健士	平田雄也
	段	四	四	五	四	三
112 航空自衛隊幹部候補生学校	氏名	宇野良武	小垣光	板井晟一	水野洋平	藤井秀平
	段	四	四	五	六	六

団体戦 対戦表

団体名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	代表	勝敗
赤							
白							

団体名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	代表	勝敗
赤							
白							

団体名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	代表	勝敗
赤							
白							

団体名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	代表	勝敗
赤							
白							

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	代表	勝敗
赤							
白							

団体名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	代表	勝敗
赤							
白							

団体名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	代表	勝敗
赤							
白							

団体名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	代表	勝敗
赤							
白							

団体名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	代表	勝敗
赤							
白							

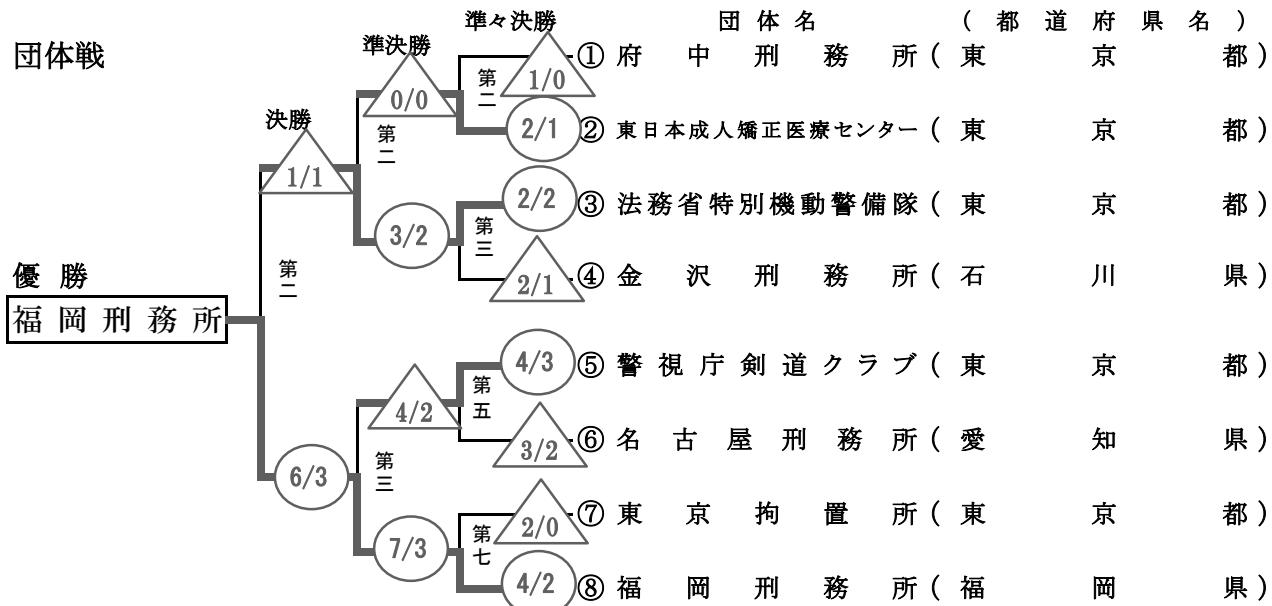
団体名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	代表	勝敗
赤							
白							

昨年度大会
ベスト8戦績

第56回全日本官公庁剣道大会

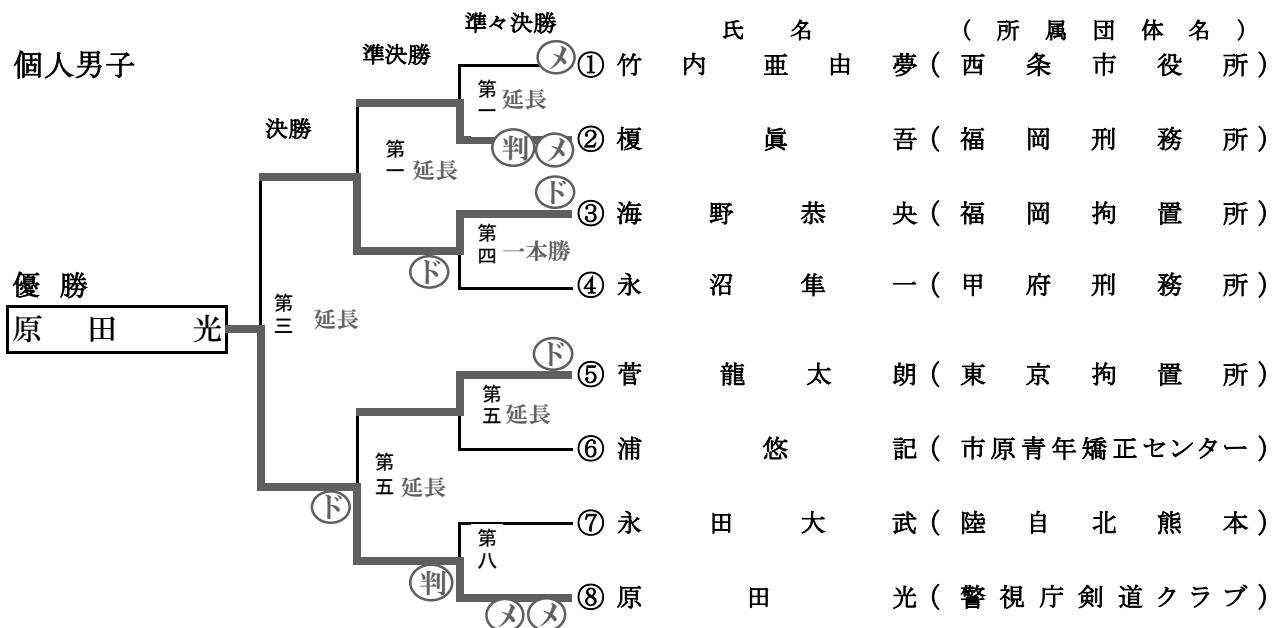
令和6年10月12日

団体戦

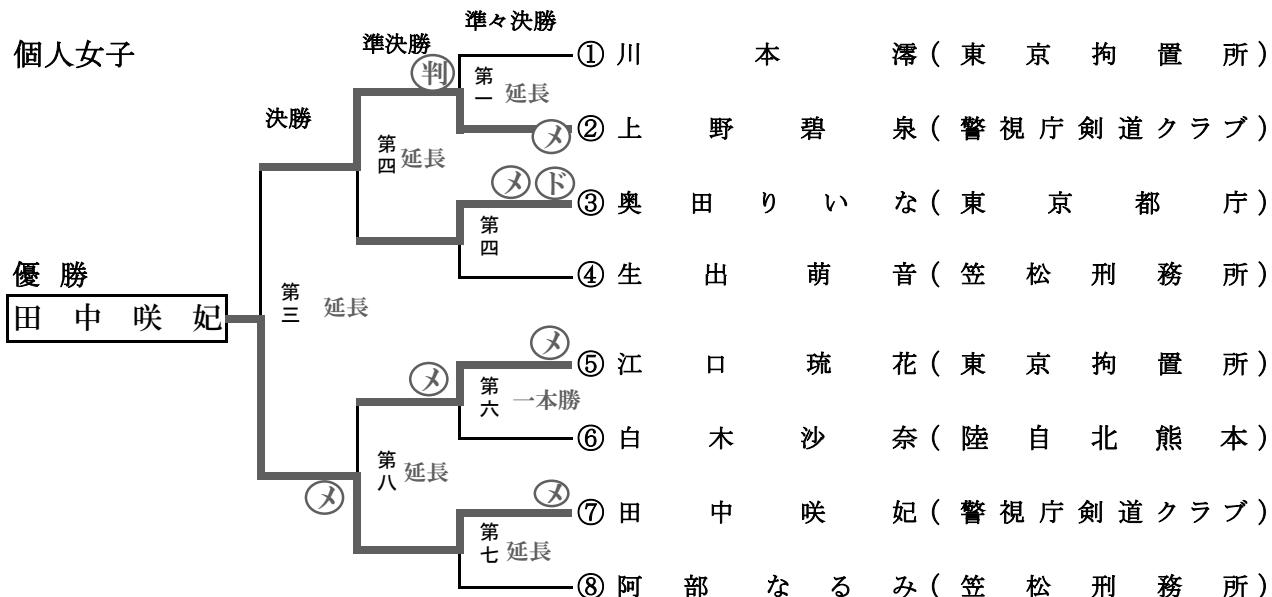


*最優秀選手賞 福岡刑務所 志築格威

個人男子



個人女子



第56回全日本官公序剣道大会模様

日時 R6年10月12日(土)
会場 東京武道館

【開会式】



○ 演武模樣



○特別演武 小野派一刀流
第18代宗家 矢吹裕二 免許 庄嶋卓矢(左)

○ 試合模様



決勝 大将戦 高田 x 志築 (引面)



男子の部決勝 海野 x 原田（延長）

女子の部決勝 上野 x 田中（延長）

決勝中堅 池西 x 古武（面）



最優秀選手賞
志築格威（福岡刑務所）



個人戦 男子の部優勝 原田 光 (警視庁剣道クラブ)



個人戦 女子の部優勝
田中咲妃光(警視庁剣道クラブ)

大 会 成 績 一 覧 表

◎ 団体の部 (1~19回)

第 回	優 勝	2 位	3 位	敢 観 賞	開 催 地
第1回 昭和44年11月	通 産 省 (東 京 都)	大阪官公署A (大 阪 府)	自 衛 隊 (東 京 都) 川崎 消 防 局 (神 奈 川 県)		於 東 京 都
第2回 昭和45年11月	電 夕 公 社 (東 京 都)	川崎 消 防 局 (神 奈 川 県)	郵 政 省 (東 京 都) 横 浜 稅 関 (神 奈 川 県)		於 東 京 都
第3回 昭和46年12月	川崎 消 防 局 (神 奈 川 県)	自 衛 隊 (東 京 都)	大 阪 官 公 署 A (大 阪 府) 電 夕 公 社 (東 京 都)		於 東 京 都
第4回 昭和47年12月	三 重 県 庁 (三 重 県)	神 戸 税 関 A (兵 庫 県)	東 京 都 庁 (東 京 都) 東 京 消 防 庁 (東 京 都)		於 大 阪 府
第5回 昭和48年11月	鹿 児 島 県 庁 (鹿 児 島 県)	第 4 航 空 群 (海 上 自 衛 隊)	東 京 国 税 局 (東 京 都) 川崎 消 防 局 (神 奈 川 県)		於 東 京 都
第6回 昭和49年11月	電 夕 関 東 A (東 京 都)	佐 世 保 海 自 (長 崎 県)	電 夕 関 東 B (東 京 都) 川崎 消 防 局 (神 奈 川 県)		於 東 京 都
第7回 昭和50年11月	川 崎 市 役 所 (神 奈 川 県)	東 京 税 関 (東 京 都)	埼 玉 県 庁 (埼 玉 県) 電 夕 関 東 A (東 京 都)		於 東 京 都
第8回 昭和51年11月	佐 世 保 海 上 自 衛 隊 (長 崎 県)	全 矯 正 B	全 矯 正 A 東 京 税 関 (東 京 都)		於 東 京 都
第9回 昭和52年11月	大 阪 拘 置 所 (大 阪 府)	岡 山 刑 務 所 (岡 山 県)	東 京 消 防 庁 A (東 京 都) 東 京 消 防 庁 B (東 京 都)		於 東 京 都
第10回 昭和53年11月	岡 山 刑 務 所 (岡 山 県)	大 阪 拘 置 所 (大 阪 府)	大 阪 刑 務 所 (大 阪 府) 大 分 刑 務 所 (大 分 県)		於 大 阪 府
第11回 昭和54年11月	千 葉 刑 務 所 (千 葉 県)	岡 山 刑 務 所 (岡 山 県)	名 古 屋 拘 置 所 (愛 知 県) 東 京 自 衛 隊 (東 京 都)		於 東 京 都
第12回 昭和55年11月	自 衛 隊 北 熊 本 (熊 本 県)	東 京 拘 置 所 (東 京 都)	横 須 賀 海 自 A (神 奈 川 県) 大 阪 刑 務 所 (大 阪 府)		於 東 京 都
第13回 昭和56年11月	東 京 拘 置 所 B (東 京 都)	東 京 自 衛 隊 A (東 京 都)	岡 山 刑 務 所 (岡 山 県) 府 中 刑 務 所 (東 京 都)		於 東 京 都
第14回 昭和57年11月	東 京 拘 置 所 A (東 京 都)	自 衛 隊 北 熊 本 (熊 本 県)	東 京 自 衛 隊 A (東 京 都) 東 京 消 防 庁 A (東 京 都)		於 東 京 都
第15回 昭和58年11月	東 京 拘 置 所 A (東 京 都)	船 岡 自 衛 隊 (宮 城 県)	東 京 消 防 庁 B (東 京 都) 大 阪 刑 務 所 (大 阪 府)		於 東 京 都
第16回 昭和59年11月	千 葉 市 消 防 局 (千 葉 県)	東 京 拘 置 所 (東 京 都)	東 京 都 庁 (東 京 都) 千 葉 刑 務 所 (千 葉 県)		於 東 京 都
第17回 昭和60年11月	東 京 拘 置 所 A (東 京 都)	大 阪 刑 務 所 (大 阪 府)	海 自 第 一 護 衛 群 A (神 奈 川 県) 東 京 拘 置 所 B (東 京 都)		於 東 京 都
第18回 昭和61年11月	東 京 拘 置 所 (東 京 都)	廣 島 拘 置 所 (广 島 県)	大 阪 市 消 防 局 B (大 阪 府) 千 葉 刑 務 所 (千 葉 県)	東 京 消 防 庁 B (東 京 都) N T T 東 京 A (東 京 都) 川 崎 市 消 防 局 A (川 崎 市) 北 熊 本 自 衛 隊 A (熊 本 県)	於 東 京 都
第19回 昭和62年11月	東 京 拘 置 所 (東 京 都)	名 古 屋 刑 務 所 (愛 知 県)	東 京 消 防 局 B (東 京 都) 船 岡 自 衛 隊 (宫 城 県)	大 阪 市 消 防 局 (大 阪 府) 住 宅 都 市 整 備 公 团 A (東 京 都) 千 葉 市 消 防 局 (千 葉 県) 府 中 刑 務 所 (東 京 都)	於 東 京 都

第回	優勝	2位	3位	敢闘賞	開催地	
第20回 昭和63年11月	東京拘置所 (東京都)	名古屋刑務所 (愛知県)	府中刑務所 (東京都) 千葉刑務所 (千葉県)	東京消防庁A (東京都) 東京消防庁B (東京都) 大阪市消防局 (大阪府) 熊本県	東京都 (東京都) 東京都 (東京都) 大阪府 (大阪府) 熊本県	於 東京都
第21回 平成元年11月	東京拘置所 (東京都)	名古屋刑務所 (愛知県)	東京消防庁 (東京都) 船岡自衛隊 (宮城县)	東京税関 (東京都) 海自館 (千葉県) 日立市消防A (茨城県) 熊本県	東京都 (東京都) 千葉県 (千葉県) 茨城県 (茨城県)	於 東京都
第22回 平成2年11月	大阪拘置所 (大阪府)	川崎市消防局 (神奈川県)	東京消防庁A (東京都) 千葉刑務所 (千葉県)	府中刑務所 (東京都) 東京拘置所 (東京都) 横浜刑務所 (神奈川県)	東京都 (東京都) 東京都 (東京都) 神奈川県	於 東京都
第23回 平成3年11月	府中刑務所 (東京都)	大阪刑務所 (大阪府)	東京消防庁B (東京都) 千葉刑務所 (千葉県)	警視庁クラブ (東京都) 東京国税局 (東京都) 通商産業省 (大阪府)	東京都 (東京都) 東京都 (東京都) 東京都 (東京都)	於 東京都
第24回 平成4年11月	東京拘置所 (東京都)	警視庁クラブA (東京都)	東京国税局A (東京都)	山形県 (山形市) 東京都市町村 (東京都)	山形県 (山形市) 東京都 (東京都)	於 東京都
第25回 平成5年11月	東京拘置所 (東京都)	警視庁クラブB (東京都)	東京消防庁A (東京都) 京都刑務所 (京都府)	神栖町役場 (茨城县) 府中刑務所B (東京都) 別府自衛隊 (大分県) 府中刑務所A (東京都)	茨城县 (神栖町) 東京都 (神栖町) 茨城县 (神栖町)	於 東京都
第26回 平成6年11月	別府自衛隊 (大分県)	東京税関 (東京都)	船岡自衛隊 (宮城县) 府中刑務所 (東京都)	京都刑務所 (京都府) 京都拘置所 (京都府) 警視庁クラブB (東京都)	京都府 (京都府) 京都府 (京都府)	於 東京都
第27回 平成7年11月	大阪拘置所 (大阪府)	府中刑務所 (東京都)	陸自福岡県 (福岡市) 東京拘置所 (東京都)	神奈川県 (神奈川市) 神栖町役場 (茨城县) 東京消防庁 (東京都) 京都刑務所 (京都府)	神奈川県 (神奈川市) 茨城县 (神栖町) 東京都 (神栖町)	於 東京都
第28回 平成8年11月	名古屋刑務所 (愛知県)	名古屋拘置所 (愛知県)	別府自衛隊 (大分県) 京都刑務所 (京都府)	東京拘置所 (東京都) 千葉刑務所 (千葉市) 警視庁クラブ (水戸市)	東京都 (東京都) 千葉県 (千葉市)	於 東京都
第29回 平成9年11月	名古屋拘置所 (愛知県)	千葉刑務所 (千葉県)	警視庁クラブ (東京都) 市川市消防局 (千葉市)	京都刑務所 (京都府) 名古屋刑務所 (東京) 東京消防防庁 (東北)	京都府 (京都府) 愛知県 (名古屋市)	於 東京都
第30回 平成10年11月	大阪拘置所 (大阪府)	名古屋刑務所 (愛知県)	警視庁クラブ (東京都) 横浜刑務所 (神奈川県)	ひたちなか市役所 (茨城县) 京都刑務所 (京都府) 船岡自衛隊 (宮城县) 陸自別府 (大分県)	茨城县 (ひたちなか市) 京都府 (京都府) 宮城县 (船岡自衛隊) 大分县	於 東京都
第31回 平成11年11月	千葉刑務所 (千葉県)	名古屋刑務所 (愛知県)	府中刑務所 (東京都) 警視庁クラブ (東京都)	川越少年刑務所 (埼玉県) 陸自北熊本 (熊本県) 奈良少年刑務所 (奈良県) 大阪拘置所 (大阪府)	埼玉県 (川越市) 熊本県 (陆自北熊本) 奈良県 (奈良市)	於 東京都
第32回 平成12年11月	鹿児島刑務所 (鹿児島県)	奈良少年刑務所 (奈良県)	名古屋刑務所 (愛知県) 第一空挺団 (埼玉県)	金沢刑務所 (石川県) 水戸少年刑務所 (茨城县) 東京消防防庁 (東京都) 警視庁クラブ (東京都)	石川県 (金沢市) 茨城县 (水戸市)	於 東京都
第33回 平成13年11月	千葉刑務所 (千葉県)	東京拘置所 (東京都)	木更津市役所 (千葉県) 陸自北熊本 (熊本県)	郵政事業 (東京都) 名古屋拘置所 (名古屋市) 市川市消防防 (千葉市)	東京都 (東京都) 愛知県 (名古屋市)	於 東京都
第34回 平成14年11月	警視庁クラブ (東京都)	東京拘置所 (東京都)	府中刑務所 (東京都) 京都刑務所 (京都府)	千葉刑務所 (千葉県) 第一空挺団 (埼玉県) 東京消防防 (東京都) 名古屋刑務所 (名古屋市)	千葉県 (千葉市) 埼玉県 (第一空挺团) 東京都 (东京) 千叶县	於 東京都
第35回 平成15年11月	東京拘置所 (東京都)	警視庁クラブ (東京都)	府中刑務所 (東京都) 名古屋刑務所 (愛知県)	陸自北熊本 (熊本県) 千葉刑務所 (千葉市) 東京税关 (千葉市)	熊本県 (陆自北熊本) 千叶县 (千叶市)	於 東京都
第36回 平成16年11月	警視庁クラブ (東京都)	大阪拘置所 (大阪府)	名古屋刑務所 (愛知県) 東京消防防 (東京都)	東京拘置所 (東京都) 千葉刑務所 (千叶市) 津山区域消防 (津山市)	東京都 (東京都) 千叶县 (千叶市)	於 東京都
第37回 平成17年11月	警視庁クラブ (東京都)	熊本刑務所 (熊本県)	東京拘置所 (東京都) 府中刑務所 (東京都)	日立市消防本部 (茨城县) 京都刑務所 (京都府) 陸自郡山 (福岛县)	茨城县 (日立市) 京都府 (京都府)	於 東京都
第38回 平成18年11月	名古屋刑務所 (愛知県)	東京拘置所 (東京都)	秋田刑務所 (秋田県) 川越少年刑務所 (埼玉県)	自卫队山口 (福岛县) 鹿児島刑務所 (鹿児島县)	福岛县 (自卫队山口) 鹿児岛县 (鹿児岛县)	於 東京都

第回	優勝	2位	3位	敢闘賞	開催地
第39回 平成19年11月	陸自北熊本 (熊本県)	福岡刑務所 (福岡県)	府中刑務所 (東京都)	甲府刑務所(山梨県) 広島刑務所(広島県) 警察庁(東京都)	於東京都
第40回記念大会 平成20年11月	陸自別府 (大分県)	府中刑務所 (東京都)	第50普通科連隊 (高知県)	黒羽刑務所(栃木県) 名古屋拘置所 (愛知県)	於東京都
第41回 平成21年10月	警視庁クラブ (東京都)	京都刑務所 (京都府)	川越少年刑務所 (埼玉県)	東京拘置所(東京都) 海自横須賀(神奈川県) 浜松市役所(静岡県)	於東京都
第42回 平成22年10月	名古屋刑務所 (愛知県)	名古屋拘置所 (愛知県)	府中刑務所 (東京都)	東京拘置所(東京都) 京都刑務所(東京都)	於東京都
第43回 平成23年10月	川越少年刑務所 (埼玉県)	第五十普通科連隊 (高知県)	福岡刑務所 (福岡県)	東京消防庁(東京都) 名古屋刑務所(愛知県) 高松刑務所(三重県) (香川県)	於東京都
第44回 平成24年10月	山形刑務所 (山形県)	福島刑務所 (福島県)	加古川刑務所 (兵庫県)	海自佐世保(長崎県) 名古屋刑務所(愛知県) 大分刑務所(長崎県)	於東京都
第45回 平成25年11月	川越少年刑務所 (埼玉県)	佐賀少年刑務所 (佐賀県)	奈良少年刑務所 (奈良県)	三重刑務所(三重県) 宮崎刑務所(宮崎県) 府中刑務所(奈良県)	於東京都
第46回 平成26年10月	広島刑務所 (広島県)	大分刑務所 (大分県)	佐賀少年刑務所 (佐賀県)	第五十普通科連隊(高知県) 福岡刑務所(高知県) 名古屋刑務所(愛知県) 空自防府南(山口県)	於東京都
(最優勝選手賞)	広島刑務所	有場 賢輔			
第47回 平成27年10月	宮崎刑務所 (宮崎県)	陸自北熊本 (熊本県)	佐賀少年刑務所 (佐賀県)	福岡刑務所(福岡県) 立川拘置所(東京都) 黒羽刑務所(栃木県) 東京拘置所(東京都)	於東京都
(最優勝選手賞)	宮崎刑務所	山下 稔文			
第48回 平成28年10月	陸自北熊本 (熊本県)	警視庁剣道クラブ (東京都)	府中刑務所 (東京都)	熊本刑務所(熊本県) 大分刑務所(大分県) 横浜刑務所(横浜市) 大阪拘置所(大阪府)	於東京都
(最優勝選手賞)	陸自北熊本	杉下 尚悟			
第49回 平成29年11月	警視庁剣道クラブ (東京都)	陸自北熊本 (熊本県)	広島刑務所 (広島県)	名古屋刑務所(愛知県) 東京拘置所(東京都) 三重刑務所(三重県) 大分刑務所(大分県)	於東京都
(最優秀選手賞)	警視庁剣道クラブ	山之内 健志			
第50回記念大会 平成30年10月	千葉刑務所 (千葉県)	大分刑務所 (大分県)	東京拘置所 (東京都)	立川拘置所(東京都) 名古屋拘置所(愛知県) 名古屋刑務所(愛知県) 府中刑務所(東京都)	於東京都
(最優秀選手賞)	千葉刑務所	樋 貢			
第51回 令和元年10月	福岡拘置所 (福岡県)	東京拘置所 (東京都)	警視庁剣道クラブ (東京都)	宮城刑務所(宮城县) 山形刑務所(山形県) 岐阜刑務所(岐阜県) 法務省特別機動隊(東京都) 君津市消防本部(千葉県)	於東京都
(最優秀選手賞)	福岡拘置所	窪 俊允			
第52回令和2年度 第53回令和3年度 第54回令和4年度		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
第55回 令和5年10月	甲府刑務所 (山梨県)	警視庁剣道クラブ (東京都)	岐阜刑務所 (岐阜県)	宮城刑務所(宮城县) 喜連川復帰センター(栃木県) 府中刑務所(東京都) 東京拘置所(東京都) 陸自国分(鹿児島県)	於東京都
(最優秀選手賞)	甲府刑務所	坂本 大河			
第56回 令和6年10月12日	福岡刑務所 (福岡県)	法務省特別機動警備隊 (東京都)	東日本成人矯正医療センター (東京都)	府中刑務所(東京都) 金沢刑務所(石川県) 警視庁剣道クラブ (東京都)	於東京都
(最優秀選手賞)	福岡刑務所	志築 格威			
第57回 令和7年10月25日					於東京都

◎ 個 人 の 部

第 回	区分	優 勝	2 位	3 位	敢 謙 賞	開催地
第 1 回 昭和44年11月		興 梶 (郵政省)	笠 井 (自衛隊)	中 島 (大阪鉄道管理局) 辻 (大阪電々公社)		於 東京都
第 2 回 昭和45年11月		白 井 (横浜税関)	小 沢 (福井県庁)	稻 川 (通産省) 俣 木 (鹿児島県串木野消防署)		於 東京都
第 3 回 昭和46年11月	女 子	星 野 (川崎消防局)	野 村 (札幌役所)	太 田 (通産省) 佐 々 木 (東京時自衛隊)		於 大阪府
第 4 回 昭和47年12月	3 段 以 下	高 橋 (電々関東)	高 仲 (電々関東)	上 田 (大阪市消防局) 寺 地 (鹿児島県庁)		於 東京都
	4 段 以 上	山 田 (今治市役所)	久 保 (大阪鉄道管理局)	西 森 (泉佐野市役所) 牧 野 (電々関東)		
第 5 回 昭和48年11月	3 段 以 下	本 橋 (海上自衛隊)	深 堀 (東京税關)	上 田 (大阪市消防局) 寺 地 (鹿児島県庁)		於 東京都
	4 段 以 上	山 田 (今治市役所)	矢 野 (海上自衛隊)	荻 原 (都庁) 矢 野 (今治市役所)		
第 6 回 昭和49年11月		上 村 (埼玉県庁)	寺 地 (海上保安庁)	宮 崎 (自衛隊体育学校) 吉 岩 (埼玉県庁)		於 東京都 於
第 7 回 昭和50年11月	男 子	斉 藤 (秋田県庁)	真 田 (東京消防庁)	土 屋 (海自21) 宮 岡 (東京税關)		於 東京都
	女 子	不 明 (東京税關)	高 橋 (仙台市役所)	鈴 木 (北海道庁) 石 井 (東京税關)		
第 8 回 昭和51年11月	男 子	田 崎 (東京自衛隊)	三 溝 (海自佐世保)	佐 藤 (秋田県庁) 樋 口 (電々近畿)		於 東京都
	女 子	荒 木 (海自下総)	中 馬 (仙台市役所)	大 谷 (東京消防庁) 白 田 (東京税關)		
第 9 回 昭和52年11月	男 子	村 岡 (郵政省)	本 橋 (海自21航空群)	高 橋 (川崎市役所) 上 村 (海自佐世保)		於 東京都
	女 子	市 川 (東京消防庁)	小 沼 (栃木刑務所)	吉 田 (衆議院) 竹 内 (名古屋市役所)		
第 1 0 回 昭和53年11月	男 子	松 友 (電々九州)	吉 村 (佐世保市役所)	山 本 (岡山刑務所) 荻 原 (都庁)		於 大阪府
	女 子	竹 内 (名古屋市役所)	高 橋 (名古屋拘置所)	中 馬 (電々横浜) 中 原 (笠松刑務所)		
第 1 1 回 昭和54年11月	男 子	峠 (岡山刑務所)	岩 元 (自衛隊北熊本)	中 村 (大野市役所) 鮫 島 (海自横須賀)		於 東京都
	女 子	原 (麓刑務所)	桑 原 (松江市役所)	高 橋 (名古屋拘置所) 伊 藤 (東京消防庁)		
第 1 2 回 昭和55年11月	男 子	大 塚 (東京拘置所)	桑 原 (東京拘置所)	為 谷 (川越少年刑務所) 梅 津 (横浜市役所)		於 東京都
	女 子	藤 原 (松江市役所)	山 田 (電々神奈川)	宮 嶋 (川越少年刑務所) 加 藤 (新潟県庁)		

第 回	区分	優 勝	2 位	3 位	敢 謙 賞	開催地
第 1 3 回 昭和56年11月	男子	大 塚 (東京拘置所)	齊 藤 (秋田県庁)	吉 田 (岡山刑務所) 小 川 (川口市役所)		於 東京都
	女子	田 中 (名古屋拘置所)	藤 原 (松江小学校)	成 田 (川口市役所) 東 内 (麓刑務所)		
第 1 4 回 昭和57年11月	男子	山 本 (大阪刑務所)	梅 澤 (横浜市役所)	大 塚 (東京拘置所) 宮 川 (横浜税関)		於 東京都
	女子	佐 藤 (栃木刑務所)	関 門 (東京消防庁)	藤 原 (松江小学校) 藤 山 (宮城県庁)		
第 1 5 回 昭和58年11月	男子	桑 原 (東京拘置所)	紺 屋 (千葉刑務所)	山 本 (大阪刑務所) 才 津 (府中刑務所)		於 東京都
	女子	中 林 (広島拘置所)	香 月 (笠松刑務所)	酒 井 (名古屋矯正) 禰 寝 (東京自衛隊)		
第 1 6 回 昭和59年11月	男子	桑 原 (東京拘置所)	松 尾 (府中刑務所)	大 森 (東京税関) 久保田 (光町役場)		於 東京都
	女子	寺 岡 (海自下総)	石 田 (東京自衛隊)	佐 藤 (栃木刑務所) 霜 降 (海自厚木)		
第 1 7 回 昭和60年11月	男子	桑 原 (東京拘置所)	大久保 (川崎市消防局)	高 橋 (日立市消防本部) 山 元 (大阪刑務所)		於 東京都
	女子	広 田 (栃木刑務所)	東国原 (和歌山刑務所)	山 本 (東京特別区) 別 府 (川口市役所)		
第 1 8 回 昭和61年11月	男子	山 元 和 昭 (大阪刑務所)	柳瀬 昭一 (府中刑務所)	山 元 宏 一 (海自大村) 吉 岡 信 司 (郵政省)	江 崎 秀 德 (東京国税局) 岡 村 昭 一 (高知県庁) 秋 吉 史 也 (NTT東京) 管 井 康 行 (取手市消防本部)	於 東京都
	女子	中 村 康 子 (広島拘置所)	出 村 佐 知 子 (東京拘置所)	成 戸 睦 (海自厚木) 寺 岡 香 龍 (海自横須賀)	大 島 一 恵 (富山県庁) 千 葉 聰 代 (笠松刑務所) 別 府 さ つ き (川口市役所) 岡 本 日 出 子 (和歌山県庁)	
第 1 9 回 昭和62年11月	男子	飯 塚 智 久 (横浜市消防局)	杉 田 明 (川口市役所)	岡 田 和 博 (東京自衛隊) 稻 垣 雄 也 (富山県庁)	柳 橋 広 之 (日立市消防本部) 益 子 和 秀 (秋田県庁) 平 井 道 典 (名古屋刑務所) 小 林 登 志 也 (石川県庁)	於 東京都
	女子	濱 谷 寿 子 (埼玉県庁)	霜 降 寿 子 (海上自衛隊)	清 水 理 恵 (住宅整備公団) 中 林 康 子 (広島拘置所)	尾 澤 百 合 子 (海上自衛隊) 羽 島 三 和 (海上自衛隊) 野 澤 ゆ み み (栃木刑務所) 尾 澤 さ ゆ り (東京市町村)	
第 2 0 回 昭和63年11月	男子	土 橋 武 士 (東京消防庁)	岡 本 義 和 (岡山県庁)	竹 之 下 得 郎 (千葉刑務所) 峠 慶 次 郎 (岡山刑務所)	中 越 顯 治 (石川県庁) 江 崎 秀 德 (東京国税局) 遠 山 純 司 (運輸省)	於 東京都
	女子	角 田 稲 穂 (法務省)	尾 澤 百 合 子 (海自鹿屋)	田 代 幸 子 (麓刑務所) 江 藤 照 美 (熊本県庁)	樺 本 栄 子 (海自横須賀) 霜 降 孝 子 (海自厚木) 出 村 佐 和 子 (東京拘置所) 寺 田 恵 美 (東京消防庁)	
第 2 1 回 平成元年11月	男子	居 村 吉 記 (石川県庁)	松 尾 貞 幸 (府中刑務所)	高 橋 一 則 (日立市消防本部) 土 橋 武 士 (東京消防庁)	稻 垣 雄 也 (富山県庁) 中 村 和 夫 (栃木県庁) 小 川 春 吉 (自衛隊) 木 下 昌 記 (和歌山県庁)	於 東京都
	女子	酒 井 純 子 (東京消防庁)	閔 根 優 子 (海自鹿屋)	別 府 さ つ き (川口市役所) 岡 田 孝 子 (石川県庁)	藤 咲 美 穂 (岩国刑務所) 角 谷 稲 穂 (交野女子学園) 小 野 か お る (総和町役場) 樋 野 由 美 (労働省)	
第 2 2 回 平成2年11月	男子	福 留 健 二 (東京消防庁)	原 口 讓 治 (川口市役所)	渡 辺 宜 (山形県庁) 上 原 厚 (相模原市役所)	黒 須 紀 男 (市原市役所) 田 中 隆 德 (海自一護群) 鈴 木 明 彦 (小山市役所) 竹 本 克 己 (名古屋刑務所)	於 東京都
	女子	松 山 こ す え (栃木刑務所)	猪 野 直 子 (海自館山)	高 橋 佐 知 代 (東京市町村) 丸 井 直 美 (栃木県庁)	井 上 栄 美 子 (埼玉県庁) 田 代 幸 子 (麓刑務所) 金 井 尚 美 (相模原市役所) 大 上 千 恵 子 (八潮市役所)	

第 回	区分	優 勝	2 位	3 位	敢 謙 賞	開催地
第 22 回 平成2年11月	男子	福留 健二 (東京消防庁)	原口 讓治 (川口市役所)	渡辺 亘 (山形県庁) 上 鈴 (相模原市役所)	黒須 紀 田中 隆 厚竹	男(市原市役所) 徳(海自一護群) 彦(小山市役所) 己(名古屋刑務所)
	女子	松山 こづえ (栃木刑務所)	猪野 直子 (海自館山)	高橋 佐知代 (東京市町村) 丸 井 直美 (栃木県庁)	井上 栄美 田代 幸 金井 尚 大上 千恵	子(埼玉県庁) 子(麓刑務所) 美(相模原市役所) 子(八潮市役所)
第23回 平成3年11月	以男子 4 上段	川口 勝也 (和歌山県庁)	庄司 守 (船岡自衛隊)	大西 泰祐 (愛知県庁) 太田 利行 (大阪刑務所)	山崎 和 松下 葵 小山 藤雅	利(高知県庁) 好(滋賀刑務所) 一(神栖町役場) 人(東京国税局)
	以男子 3 下段	松尾 賢 (警視庁)	山本 悅史 (東京消防庁)	近藤 康 (宇都宮市役所) 鈴木 克史 (横浜市消防局)	笹瀬 高 伊藤 剛 松下 昭 山元	弘(千葉刑務所) (横浜税関) 典(滋賀刑務所) 隆(大阪刑務所)
	女子	宮西 礼子 (警視庁)	太田 洋子 (札幌刑務所)	酒井 純子 (東京消防庁) 松山 こづえ (栃木刑務所)	佐藤 恵美 丸井 直美	子(海自厚木) (栃木刑務所)
第24回 平成4年11月	以男子 4 上段	秋山 一成 (神栖町役場)	川口 勝也 (和歌山県庁)	家 近 洋 (岡山県庁) 黒須 紀男 (市原市役所)	青木 正彦 河野 浩之 佐竹 並茂	彦(市川市役所) (大阪市消防局) (郵政省) (東京都)
	以男子 3 下段	岸部 淳 (川崎市消防局)	和田 雄二 (日立消防本部)	吉田 秀雄 (警視庁クラブ) 有留 敏秀 (府中刑務所)	山下 義德 井田 淳也 河尻 拓郎 小林 晃	(加古川刑務所) (川崎市役所) (和歌山県庁) (千葉刑務所)
	女子	神田 真奈美 (笠松刑務所)	中島 文子 (海自館山)	酒井 純子 (東京消防庁) 西岡 賢子 (栃木刑務所)	佐藤 恵美 大谷 美穂 秋山 美穂 加藤 美花	子(海自厚木) (航自熊谷) (警視庁クラブ) (神奈川県)
第25回 平成5年11月	以男子 4 上段	長野 哲士 (東京拘置所)	和田 稔史 (警視庁)	川田 勝也 (和歌山県庁) 村田 宏明 (川口市役所)	中村 秀樹 三好 元親 田辺 宏壯 三神 昭浩	(名古屋刑務所) (愛知県庁) (川崎市役所) (甲府地区消防)
	以男子 3 下段	北川 真一 (習志野自衛隊)	素川 卓也 (大阪消防局)	松下 幸夫 (東京消防庁) 瀧澤 孝彦 (横浜市消防局)	井田 淳也 平林 哲裕 小島 裕之 上村 慎太郎	(川崎市役所) (東京拘置所) (下館市役所) (十条自衛隊)
	女子	間宮 美穂 (笠松刑務所)	町田 智子 (栃木刑務所)	高木 希容 (和歌山刑務所) 佐藤 恵美子 (海自厚木)	林美智子 笠貫理恵 小野 かおる 安食朋	(和歌山刑務所) (津久井町役場) (総和町役場) (東京都)
第26回 平成6年11月	以男子 4 上段	窪田 圭太郎 (大阪拘置所)	矢吹 裕二 (警視庁)	上原 源隆 (東京消防庁) 漁野 照和 (大阪刑務所)	沖山 大介 杉山 神昭 寺島 清志	(前橋市役所) (神奈川県庁) (甲府地区消防) (神栖町役場)
	以男子 3 下段	遠藤 昭一 (大阪拘置所)	城 喜裕 (東京拘置所)	中水流 完一 (京都拘置所) 山下 晃生 (筑南消防本部)	金子 英司 上村 慎太郎 貴志 亨 綿崎	(鎌倉市消防) (東京自衛隊) (東京消防庁) (大阪消防局)
	女子	平賀 裕美子 (警視庁)	石井 都茂子 (和歌山刑務所)	弓倉 葉子 (和歌山刑務所) 林 美智子 (和歌山刑務所)	高木 佳子 高原 寿和 山本 朋世 田波 純子	(栃木刑務所) (東京自衛隊) (岩国刑務所) (東京消防庁)
第27回 平成7年11月	以男子 4 上段	北川 真一 (空自習志野)	佐々木 正 (警視庁)	今山 靖之 (別府自衛隊) 中村 興正 (陸自福岡)	川辺 公正 佐藤 彰 横田 誠治 吉海 誠起	(熊本県庁) (東京拘置所) (東京拘置所) (陸自熊本)
	以男子 3 下段	吉田 雅文 (名古屋刑務所)	辻 真人 (東京消防庁)	黒川 良康 (東京国税局) 柴牟田 隆昭 (警視庁)	及川 康博 竹内 正人 佐藤 進 山下 義徳	(船岡自衛隊) (警視庁) (船岡自衛隊) (加古川刑務所)
	女子	原口 隠子 (警視庁クラブ)	井川 幸 (熊本県庁)	神田 真奈美 (麓刑務所) 吉田 優希 (東京拘置所)	塙直子 原寿和 黒田 幸悦 斎藤 悅子	(海自横須賀) (東京自衛隊) (東京特別区) (東京自衛隊)
第28回 平成8年11月	以男子 4 上段	中田 淳 (警視庁クラブ)	宇田川 彰弘 (千葉刑務所)	金子 裕一郎 (東京消防庁) 中村 興正 (陸自福岡)	上林 久恭 今野 公司 溝口 夏樹 佐藤 清仁	(山形県庁) (農林公庫) (名古屋刑務所) (川崎市役所)
	以男子 3 下段	高橋 博美 (名古屋拘置所)	朝日 久人 (陸自福岡)	山本 雄二 (東京消防庁) 安達 公克 (労働省)	大川 正行 五十嵐 義和 井上 大介 大橋 学	(船岡自衛隊) (千葉刑務所) (32普一連)
	女	武田 裕 (警視庁クラブ)	柳沢 美紀 (警視庁クラブ)	吉田 優希 (東京拘置所) 遠藤 聰子 (東京拘置所)	金持 千鶴 小林 圭代 塙直子 別府 さつき	(和歌山刑務所) (東京国税局) (海自横須賀) (川口市役所)

第 回	区分	優 勝	2 位	3 位	敢 閣 賞	開催地
第29回 平成9年11月	男子	高 橋 博 美 (名古屋拘置所)	西 村 太 作 (東京消防庁)	谷 田 部 昭 広 (下館市役所)	熊 谷 英 明 (東京税関) 岡 本 大 誓 生 (石川県庁) 渡 邊 幹 鉄 次 (警視庁クラフ')	於 東京都
	女子	清 水 真 樹 (東京消防庁)	松 浦 裕 子 (警視庁クラフ')	松 岡 道 子 (警視庁クラフ')	吉 田 優 希 (東京拘置所) 弓 倉 葉 子 (東京拘置所) 中 山 あ か ね (和歌山県庁) 熊 崎 陽 陽 子 (名古屋拘置所) 中 尾 実 嘉 子 (横浜刑務所)	
第30回 平成10年11月	男子	片 岡 崇 (東京消防庁)	松 谷 英 信 (空自第一空挺団)	豊 田 一 成 (神戸拘置所)	石 井 修 (大子町役場) 東 間 一 博 (茂原市役所) 宮 崎 孝 敏 (大阪刑務所)	於 東京都
	女子	吉 田 優 希 (東京拘置所)	早 苗 香 代 子 (東京拘置所)	松 木 郁 (大阪拘置所) 松 原 元 み (札幌刑務支所)	白 坂 万 起 子 (警視庁クラフ') 小 林 圭 代 (東京国税局) 中 谷 有 里 (和歌山市役所) 浅 尾 瑞 季 (警視庁クラフ')	
第31回 平成11年11月	男子	関 雅 之 (警視庁クラブ)	植 田 修 一 (奈良少年刑務所)	曾 根 武 仁 (名古屋刑務所) 柳 村 琢 也 (千葉刑務所)	成 松 猛 (陸自別府) 熱 海 博 一 (宇都宮市役所) 清 野 忍 次 (岐南広域行政) 坂 下 鉄 次 (東京拘置所)	於 東京都
	女子	大 里 史 織 (笠松刑務所)	宮 田 香 織 (笠松刑務所)	原 寿 和 子 (陸自健軍) 朝 比 奈 静 香 (警視庁クラブ)	山 本 美 香 (庄川町役場) 大 本 七 重 香 (東京消防庁) 清 水 真 樹 (東京消防庁) 松 木 郁 (大阪拘置所)	
第32回 平成12年11月	男子	新 村 浩 志 (鹿児島刑務所)	谷 田 部 昭 広 (下館市役所)	布 施 雄 之 (山形刑務所) 松 田 宣 人 (岐阜刑務所)	宇 都 宮 裕 司 (川崎市役所) 榎 原 貴 志 (横浜刑務所) 松 田 山 瞳 (水戸少年刑務所) 谷 英 信 (空挺)	於 東京都
	女子	山 本 满 美 (警視庁クラブ)	浅 尾 瑞 季 (警視庁クラブ)	最 首 綾 子 (浦和市役所) 早 苗 香 代 子 (東京拘置所)	菊 地 寿 枝 (労働省) 加 藤 幸 枝 (特別区) 松 安 英 里 (札幌)	
第33回 平成13年11月	男子	菅 原 要 (警視庁クラブ)	中 原 泉 (目黒自衛隊)	山 之 内 考 二 (京都刑務所) 三 神 昭 浩 (甲府消防本部)	久 保 直 志 (山形刑務所) 宮 本 紀 洋 (鹿児島県庁) 戸 塚 隆 雄 (浅羽町役場) 多 日 良 勇 (神戸拘置所)	於 東京都
	女子	中 岡 真 紀 (警視庁クラブ)	庄 島 幸 恵 (警視庁クラブ)	檜 垣 典 代 (大阪拘置所) 山 崎 亜 希 子 (蕨市役所)	兼 松 美 紀 (笠松刑務所) 谷 岩 哲 子 (大阪拘置所)	
第34回 平成14年11月	男子	三 角 康 二 (京都刑務所)	新 名 博 之 (横浜刑務所)	赤 松 政 博 (警視庁クラブ) 櫻 井 寛 (東京拘置所)	菅 藤 修 康 (福島刑務所) 壹 岐 正 志 (陸自別府) 佐 藤 央 紀 (秋田県庁) 塩 谷 博 昭 (滋賀県庁)	於 東京都
	女子	佐 々 木 浩 子 (警視庁クラブ)	吉 田 美 保 (東京消防庁)	松 宮 由 美 子 (警視庁クラブ) 兼 松 美 紀 (笠松刑務所)	平 尾 真 理 子 (木更津市役所) 長 片 岡 祐 子 (佐久地方事務所) 檜 垣 典 代 (大阪拘置所)	
第35回 平成15年11月	男子	中 村 光 寿 (警視庁クラブ)	小 野 茂 (山梨警察クラブ)	桂 30 駿 孝 (東京国税局) 諸 伏 伸 勝 (宇都宮市役所)	町 田 和 也 (秩父広域) 菊 地 秀 武 (大阪拘置所) 楠 本 哲 夫 (大村市役所) 小 林 幸 幸 (東京都庁)	於 東京都
	女子	宮 田 香 織 (麓刑務所)	岩 田 美 穂 (笠松刑務所)	荻 野 啓 子 (山梨警察クラブ) 原 島 尚 子 (栃木刑務所)	中 尾 実 嘉 子 (横浜刑務所) 佐 藤 阳 子 (大阪拘置所) 安 倍 章 子 (陸自神町) 横 山 英 里 (大阪拘置所)	
第36回 平成16年11月	男子	山 崎 一 歩 (警視庁クラブ)	川 合 慎 一 (郡山自衛隊)	山 村 真 一 (甲府刑務所) 中 村 誠 (陸自別府)	藤 田 聰 (黒羽刑務所) 秋 元 學 (宮城刑務所) 進 藤 拓 也 (大村市役所) 谷 研 作 (東京拘置所)	於 東京都
	女子	小 池 愛 子 (警視庁クラブ)	鍋 山 夏 子 (陸自霞ヶ浦)	岩 田 美 穂 (笠松刑務所) 吉 田 麻 理 子 (総和町役場)	新 原 のぞみ (加治木町役場) 鈴 木 千 草 (日本道路公団) 小 野 夏 美 (山梨警察) 岩 本 美 穂 (都市再生機構)	
第37回 平成17年11月	男子	内 田 智 久 (熊本刑務所)	池 内 俊 夫 (厚生労働省)	東 海 林 聰 (秋田刑務所) 内 藤 友 和 (名古屋刑務所)	川 上 宏 樹 (日立消防本部) 高 橋 新 介 (多摩少年院) 大 西 翔 宏 (陸自北熊本) 佐 々 木 一 記 (庄内町役場)	於 東京都
	女子	池 田 典 子 (京都拘置所)	大 里 史 織 (福岡刑務所)	勝 連 幸 恵 (福島刑務所) 永 井 野 久 美 (警視庁剣道クラブ)	小 関 陽 子 (警視庁剣道クラブ) 長 尾 真 理 子 (長野県庁) 井 上 ゆ き 代 (熊本県庁) 山 崎 理 代 (長野地方事務所)	
第38回 平成18年11月	男子	土 屋 雄 一 (警視庁剣道クラブ)	舌 間 文 展 (佐世保刑務所)	遠 藤 瑞 土 (土浦市役所) 椎 葉 尚 晃 (陸自北熊本)	田 中 阳 一 (いすみ市役所) 梅 木 大 聰 (京都刑務所) 藤 田 聰 (黒羽刑務所) 繁 松 大 介 (日田市役所)	於 東京都
	女子	石 突 小 百 合 (警視庁剣道クラブ)	池 田 典 子 (京都拘置所)	大 里 史 織 (福岡刑務所) 木 村 真 央 (大町市役所)	永 井 野 久 美 (警視庁剣道クラブ) 吉 田 美 保 (東京消防庁) 加 治 千 明 (陸自別府) 勝 連 幸 恵 (福島刑務所)	

第 回	区分	優 勝	2 位	3 位	敢 閣 賞	開催地
第39回 平成19年11月	男子	庄嶋 卓司 (警視庁剣道クラブ)	移川 薫 (陸自郡山)	小林 弘典 (川越少年刑務所) 吉田 健児 (京都刑務所)	酒井 仁 (長岡市役所) 稻葉 宗好 (黒羽刑務所) 岸川 誠司 (佐世保刑務所) 日和田 慈海 (吉野川市役所)	於 東京都
	女子	石坂 彩 (警視庁剣道クラブ)	山下 久美子 (警視庁剣道クラブ)	鍋山 夏子 (陸自土浦) 菊地 寿枝 (厚生労働省)	岩田 美穂 (笠松刑務所) 大里 史織 (福岡刑務所) 別府 さつき (川口市役所) 川岡 智美 (笠松刑務所)	
第40回 平成20年11月	男子	濱崎 勇輔 (警視庁剣道クラブ)	日和田 慈海 (吉野川市役所)	社頭祐 (京都刑務所) 閔内 弘樹 (宮城刑務所)	五十嵐 将之 (横須賀刑務所) 安永 誠木 (陸自北熊本)	於 東京都
	女子	山下 久美子 (警視庁剣道クラブ)	今村 友美 (警視庁剣道クラブ)	山北 麻米 (笠松刑務所) 中津留知世美 (大阪拘置所)	戸嶋 敬子 (木更津市役所) 御館 智枝 (かほく市役所)	
第41回 平成21年10月	男子	田ノ上 天啓 (警視庁剣道クラブ)	小笠原 嘉男 (佐世保刑務所)	佐藤 真也 (山形刑務所) 久保 稔 (第一空挺団)	北井 淳之輔 (かほく市役所) 金重 忠道 (東京拘置所) 八十島 隆輔 (富山市役所) 及川 将孝 (陸自郡山)	於 東京都
	女子	今村 友美 (警視庁剣道クラブ)	大里 史織 (福岡刑務所)	永井野 久美 (警視庁剣道クラブ) 佐々木 由貴 (警視庁剣道クラブ)	森谷 愛美 (陸自船岡) 北島綾乃 (東京消防庁) 佐藤 功伊 (陸自郡山) 濱崎 さゆり (警視庁剣道クラブ)	
第42回 平成22年10月	男子	菅原 清輔 (福島刑務所)	志田 和謙 (宮城刑務所)	久保 翔太 (京都刑務所) 太鼓 真佑 (陸自別府)	上村 岳嗣 (長野刑務所) 大内 宗明 (甲府刑務所) 林 雄貴 (警視庁剣道クラブ) 龍福 巧 (水戸刑務所)	於 東京都
	女子	小野口 友絵 (警視庁剣道クラブ)	佐々木 由貴 (警視庁剣道クラブ)	濱崎 さゆり (警視庁剣道クラブ) 大森 純子 (福島刑務所)	佐藤 功伊 (陸自郡山) 斎藤 美由樹 (東京自衛隊) 北島綾乃 (東京消防庁) 上村 英莉子 (飯田市役所)	
第43回 平成23年10月	男子	中田 聰志 (三重刑務所)	田中 秀治 (福岡刑務所)	久保 翔太 (京都拘置所) 熊谷 宗一 (東京拘置所)	遠藤 瑞土 (土浦伊役所) 合田 隆一 (大阪刑務所) 尾棹 淳一 (市原市役所) 渡邊 裕基 (海自下総)	於 東京都
	女子	牛濱 なつみ (警視庁剣道クラブ)	米山 雅子 (警視庁剣道クラブ)	濱崎 さゆり (警視庁剣道クラブ) 板橋 信恵 (東京入国管理局)	石田 名穂 (皇宮警察剣道クラブ) 佐藤 功伊 (陸自郡山) 上村 英莉子 (飯田市役所) 佐藤 智子 (東京消防庁)	
第44回 平成24年10月	男子	矢口 二三也 (川越少年刑務所)	青木 英治 (警視庁剣道クラブ)	永田 和樹 (加古川刑務所) 櫻木 雄一郎 (第五十普通科連隊)	谷山 誠 (姫路少年刑務所) 渡邊 裕基 (海自下総) 守山 伸幸 (宇部市役所) 藤朋 已 (市原刑務所)	於 東京都
	女子	田中 美妃 (警視庁剣道クラブ)	力武 あゆみ (警視庁剣道クラブ)	小貫 貴美 (柄木刑務所) 今井田 恵里 (笠松刑務所)	大里 史織 (福岡刑務所) 河野 亜希 (柄木刑務所) 戸田 有美 (柄木刑務所) 菊池 真琴 (柄木刑務所)	
第45回 平成25年11月	男子	堀 大河 (八王子医療刑務所)	河内 和也 (警視庁剣道クラブ)	中村 誠 (陸自対馬) 花崎 和博 (山田町役場)	遠藤 瑞土 (土浦市役所) 小南 雅和 (東京拘置所) 金森範樹 (京都刑務所) 酒匂 豊 (福岡刑務所)	於 東京都
	女子	小泉 ひかり (笠松刑務所)	磯田 里佳 (警視庁剣道クラブ)	立川 真衣 (大阪拘置所) 西夏奈 (麓刑務所)	嶋崎 知佳 (東京消防庁) 有川 薫 (特別区) 八巻 亜由美 (福島刑務所) 柴田 結 (警視庁剣道クラブ)	
第46回 平成26年10月	男子	辻 太地 (警視庁剣道クラブ)	矢野 孔明 (広島拘置所)	永田 和樹 (加古川刑務所) 太田 宗佑 (三重刑務所)	松嶋 嘉仁 (千葉刑務所) 徳部 大地 (大分刑務所) 小南 雅和 (東京拘置所) 徳岡 義文 (十条自衛隊)	於 東京都
	女子	塩野 仁美 (警視庁剣道クラブ)	岩谷 千裕 (警視庁剣道クラブ)	滝浪 遥 (長野県庁) (警視庁剣道クラブ)	樋口 ゆう子 (茨城県庁) 赤坂 紋華 (陸自船岡) 高橋 静 (国際協力機構) 岡と もえ (笠松刑務所)	
第47回 平成27年10月	男子	眞下 裕二 (旭川刑務所)	宮崎 啓佑 (佐賀少年刑務所)	米田 志穂 (陸自別府) 兒島 義久 (第一普通科連隊)	鎌田 将史 (海自佐世保) 田崎 悟 (宇都宮市役所) 川越 龍之介 (宮崎刑務所) 本間 建成 (広島刑務所)	於 東京都
	女子	三木 聖代 (警視庁剣道クラブ)	柴田 結 (警視庁剣道クラブ)	松尾 純子 (十条自衛隊) 岩谷 千裕 (警視庁剣道クラブ)	永島 理美 (特別区) 大崎 香織 (市ヶ谷自衛隊) 有川 薫 (特別区) 佐藤 功伊 (目黒自衛隊)	
第48回 平成28年10月	男子	川原 正道 (福岡刑務所)	荒木 晃太郎 (名古屋刑務所)	吉田 育弘 (警視庁剣道クラブ) 森岡 遼輔 (高知刑務所)	村田 光 (神栖市役所) 小柳 慎吾 (陸自対馬) 浦 悠記 (千葉刑務所) 安藤 昂貴 (播磨復帰支援センター)	於 東京都
	女子	河田 百恵 (警視庁剣道クラブ)	岩谷 千裕 (警視庁剣道クラブ)	増川 雪乃 (東京消防庁) 石森 薫 (警視庁剣道クラブ)	角田 諭香 (警視庁剣道クラブ) 太田 美里 (大阪拘置所) 河原結依 (麓刑務所) 根本 樹 (柄木刑務所)	

第 回	区分	優 勝	二 位	三 位	敢 賞	開催地	
第49回 平成29年11月	男子	西野 友揮 (警視庁剣道クラブ)	濱畠 賢人 (横浜刑務所)	中島 大将 (佐世保刑務所) 岩瀬 卓也 (東京拘置所)	津田 翔 (市原刑務所) 鈴木 理規 (名古屋刑務所) 横 貢 (千葉刑務所) 皆川 順磨 (横須賀刑務所)	於 東京都	
	女子	石森 薫 (警視庁剣道クラブ)	松岡 真菜美 (警視庁剣道クラブ)	奥田 りいな (東京都庁) 江口 淑花 (警視庁剣道クラブ)	大島 樹華 (横須賀刑務所) 大場 明 (東京拘置所) 森田 万弥 (栃木刑務所) 増川 雪乃 (東京消防庁)		
第50回 平成30年10月	男子	海野 祐介 (名古屋刑務所)	小林 大暉 (警視庁剣道クラブ)	木村 佳希 (函館少年刑務所) 島田 悠平 (神奈川県庁)	桂川 征大 (名古屋拘置所) 池田 愛 (東京拘置所) 中村 友彦 (十条自衛隊) 小山 悠利 (君津市消防本部)	於 東京都	
	女子	高馬 涼子 (警視庁剣道クラブ)	和栗 宏恵 (警視庁剣道クラブ)	松岡 真菜美 (警視庁剣道クラブ) 森角 遥 (長野県庁)	河内 紗子 (福島刑務所) 奥田 りいな (東京都庁) 江口 瑞花 (警視庁剣道クラブ) 吉田 沙紀 (豊橋刑務支所)		
第51回 令和元年10月	男子	安藤 昂貴 (播磨復帰センター)	中田 圭紀 (甲府刑務所)	竹田 雄樹 (陸自別府) 川上 正吾 (大阪拘置所)	小林 大暉 (警視庁剣道クラブ) 大越 海靖 (東日本医療センター) 黒木 翔平 (宮城刑務所) 堀之内 健 (陸自国分)	於 東京都	
	女子	井本 美沙 (笠松刑務所)	和栗 宏恵 (警視庁剣道クラブ)	松岡 真菜美 (警視庁剣道クラブ) 渡邊 柚 (秋田県庁)	津田 花於里 (東京拘置所) 嶋崎 知佳 (東京消防庁) 森角 遥 (長野県庁) 出口 菜々 (大阪拘置所)		
第52回令和2年度 第53回令和3年度 第54回令和4年度	男子	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止					
	女子						
第55回 令和5年10月22日	男子	阿部 壮己 (警視庁剣道クラブ)	茂田 大貴 (川口市役所)	岡田 佑介 (警察庁) 渡邊 敏太 (広島拘置所)	藤井 健介 (岐阜刑務所) 岩坂 亮 (名古屋拘置所) 山川 鳩太 (高松地方検察庁) 柳井 慎吾 (岡崎医療刑務所)	於 東京都	
	女子	永井 愛子 (警視庁剣道クラブ)	木宮 凜々子 (警視庁剣道クラブ)	藤田 杏香 (横浜刑務所) 北畠 彩衣里 (千葉刑務所)	本田 和 (麓刑務所) 牧野 愛 (東京都庁) 中原 瑞美 (陸自第一普通科連隊) 小角 春奈 (大阪拘置所)		
第56回 令和6年10月12日	男子	原田 光 (警視庁剣道クラブ)	海野 恭央 福岡拘置所	榎眞吾 福岡刑務所 菅龍太朗 東京拘置所	竹内 亜由夢 永沼 隼一 甲府刑務所 浦 悠記 市原青年矯正センター 永田 大武 陸自北熊本	於 東京都	
	女子	田中 咲妃 (警視庁剣道クラブ)	上野 碧泉 (警視庁剣道クラブ)	奥田 りいな 東京都庁 江口 瑞花 東京拘置所	川本 澤 東京拘置所 生出 萌音 笠松刑務所 白木 沙奈 陸自北熊本 阿部 なるみ 笠松刑務所		
第57回 令和7年10月25日	男子					於 東京都	
	女子						
第58回 令和8年10月31日		来年度大会予定日				於 東京都	

官公庁剣道連盟讃歌

作詞・作曲 日本郵政
編曲

大飯島光雄

(前奏4小節)

てんにかんがみわたくしなし

「天 鑑 無 私」は

(間奏4小節)

てんにかんがみわたくしなし

「天 鑑 無 私」は

我等が掲げる 熱き思い

我等が繋がる 強い絆

正しい心と 感謝の念で

刃筋を正して 正中線割つて

日本の未来を 開かんと

攻める刀は 理に適い

励む 官公庁剣道連盟

育つ 官公庁剣道連盟

二 「天 鑑 無 私」は

てんにかんがみわたくしなし
「天 鑑 無 私」は

我等が働く 真摯な姿勢

我等がみんなの 生きる力

礼節尊 打ち込む姿

この身を鍛えて 講道魂溢れ

己を捨てて 人の為

生涯剣道 目指さんと

伸びる 官公庁剣道連盟

進む 官公庁剣道連盟

嗚呼 我等の剣道連盟

全日本官公庁剣道大会50回記念に際し、委員会で官公庁剣道連盟讃歌の制作を提案された。平成30年5月の総会で、日本郵政飯島氏作詞作曲の官公庁剣道連盟讃歌を連盟の讃歌として承認された。

祝
第57回全国官公庁剣道大会

大会開催おめでとうございます。
出場される皆様のご健闘をお祈りしています。
本日、南口玄関付近にて出店しております。御来店お待ちしております

JINYU BUDOGU
仁勇武道具

2024年1月にオープンした剣道具専門店です。

JR上野駅から徒歩3分。お気軽にお立ち寄りください。

仁勇武道具株式会社

住 所 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目16-3

T E L 03-5812-2109

MA I L contact@jinyu-budogu.com

営業時間 10時00分～19時00分

定休日 毎週月曜日、第1・3火曜日

BASEHP
アウトレット商品
掲載中



公式LINE
SALE情報等
隨時配信中



HP
会社概要

【東京武道館のご案内】

所在地 〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-20-1
電 話 サービス係 (03)5697-2111



- 東京武道館まで、東京メトロ千代田線 「綾瀬」駅下車
東口から約徒歩5分です。（東綾瀬公園内をお通りください）
- 東綾瀬公園駐車場から徒歩約15分です。

足立区谷中1-3

駐車台数 約100台

* 24時間営業 1時間三百円 30分ごと百円

*マイクロバスは、駐車場の奥側にとめてください。

【案内図】



指定喫煙所

◎会場使用上の注意

- 以下に該当するものは、大会に参加することを控えること。
① 体調が良くない場合、体調が普段と異なる場合（症状がなくとも感染している場合があるため）
② 発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合。
③ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる場合も慎重に判断すること。
- 入場口のアルコール除菌液で手指消毒を行うこと。
○ 武道館内は土足禁止です。
- 会場内は禁煙です。喫煙は、駅前広場付近の決められた喫煙所とします。
- 盗難に注意してください。
○ ○ ○ 貵重品は各自手元に置くか、所属団体で管理して下さい。
○ ○ ○ ゴミは、所定のゴミ箱に分別し早めに捨ててください。
○ ○ ○ ペットボトルは、自販機近くの容器入れで回収します。
- 更衣について、男子試合者は観覧席、第一武道場及び一階更衣室とし荷物は各自管理すること。
○ 女子試合者は、一階更衣室及び第一、第二武道場の和室を共用の一階更衣室は、更衣のみとして荷物は置かないよう注意して下さい。
○ 第一、第二道場ともに密集状態にならないよう配慮下さい。
○ また、荷物を放置し長時間館内からの外室を禁止します。
- ○ ○ 試合場の大武道場内は、応援者等は入場できない。
○ ○ ○ 会場内では、大きな声で会話や応援等をしないこと。
○ ○ ○ 第二武道場は、午前10時～午後4時頃まで使用出来ます。
○ ○ ○ 交剣知愛・交流の場としてご利用いただけます。
○ 以上のお注意事項を守り、本大会が成功裏に終了できるようご協力ください。以上

